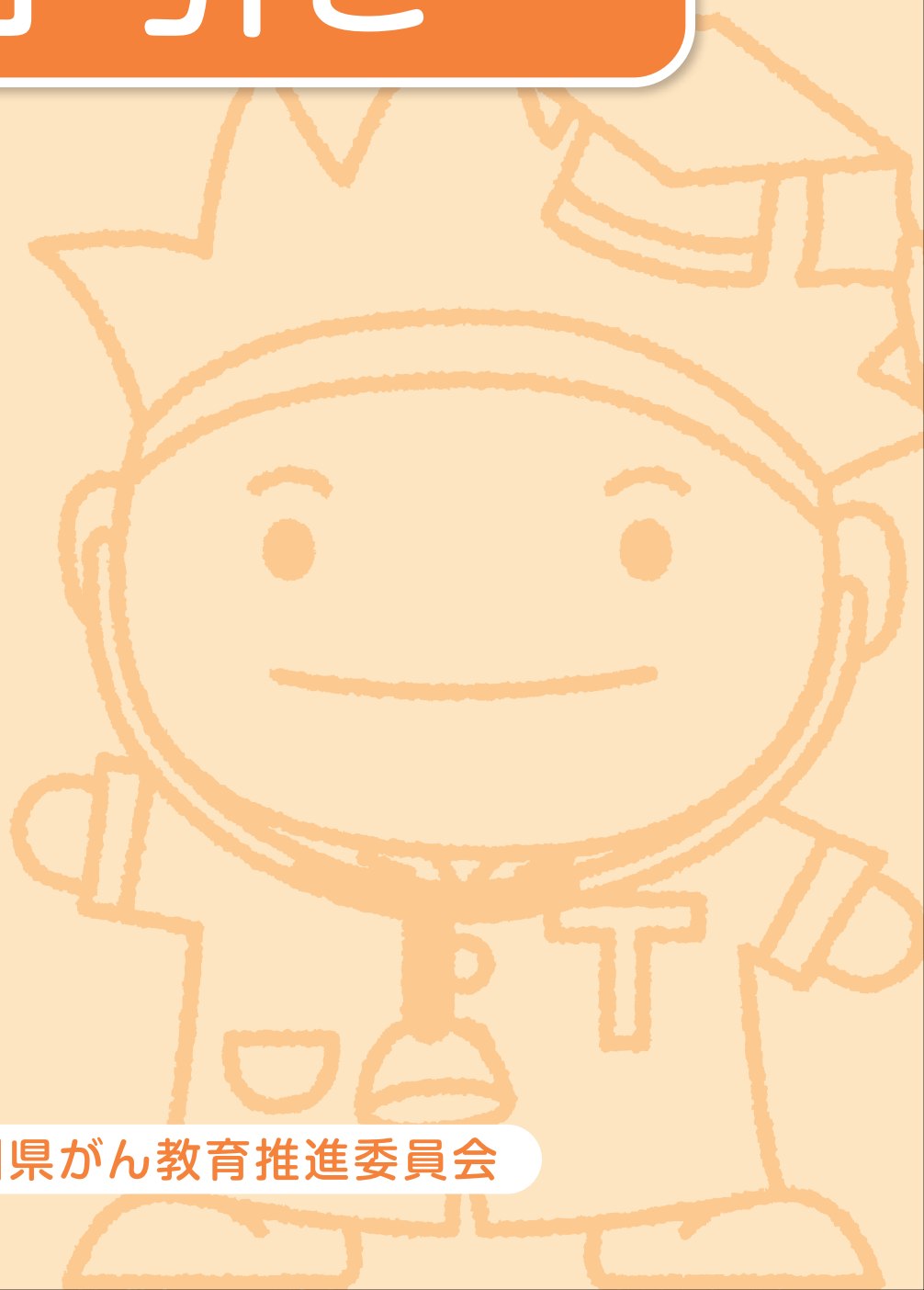


香川県

がん教育の 手引き

香川県がん教育推進委員会



はじめに

高齢化の進行により、我が国では3人に1人ががんで死亡し、2人に1人が生涯のうちにがんに罹患すると推計されています。がんは、香川県でも昭和52年以降、死亡原因の第1位であり、自分や家族にとって避けることができない健康課題となっています。

すでに、各学校でもがん予防を含めた保健教育が行われていますが、これからの子どもたちには、将来、自分自身もしくは家族としてがんに向かい合う機会の増加が予測され、がんに関する科学的な知識と正しい認識に基づく実践力を身に付けることが、より一層重要になってくると思われます。

がん教育の目的は、各学校において、がんの特化した教育を実施することにより「いのち」の大切さの理解を深め、主体的にがん予防に取り組む姿勢を育てることにあります。その結果、身近にいるがん患者やその家族に対する理解と思いやりの気持ちが醸成され、互いに支え合う社会の形成にも貢献するでしょう。がんという病気を自分たちの健康課題として捉えることは、「正確な情報」や「正しい知識」を「生きる知恵」に変え、生涯を通じて健康な生活を送るための基礎を作ることにつながります。

この目的を達成するため、本書では保健・医療関係者及び学校関係者の意見を集約し、試行的な授業の実践経験を踏まえた上で、学校におけるがん教育の基本的な考え方や進め方、さらに各学校各学年における教材の取り扱いや指導例などについて解説いたしました。本書が十分に活用され、先生方のがん教育に対する理解と認識が一層深まり、包括的ながん教育が推進されることを切に願います。そして、がん教育に携わる先生方とその教えを受けた子どもたちがともに『がんを予防し、がんに向かい合う香川県』実現の原動力となることを期待しています。

最後に、本書及び教材等の作成に当たり多大な御尽力をいただきました関係者の皆様方に対し、心から感謝申し上げます。

平成26年3月

香川県がん教育推進委員会
会長 吉澤 潔

香川県がん教育の手引き

はじめに

I	学校におけるがん教育の推進の必要性	
	1 がん教育の必要性	01
	2 がんの現状	02
	3 がん教育に関する課題の対応についての考え方	03
II	学校におけるがん教育の基本的な考え方	
	1 学校におけるがん教育の目標	04
	2 発達段階に応じた指導のあり方	05
III	学習指導要領に関する資料	
	1 がん教育と保健学習内容の系統性	07
	2 特別活動・学級活動におけるがん教育の関連性	08
	3 高等学校保健体育編・体育編におけるがん教育の関連性	09
	4 各教科とがん教育の関連性	10
IV	学校におけるがん教育の進め方	
	1 香川県版がん教育プログラムの特徴	13
	2 指導の内容	14
	3 教材の構成	14
	4 がん教育の指導計画及び指導体制	15
	5 実施に向けた手順	16
	6 教材の活用の留意事項	18
	7 家庭・地域社会との連携	18
	8 正しい情報収集と相談機関の活用	19
V	小中高等学校がん教育指導事例	
	1 小学校3年生指導例【学級活動】	20
	2 小学校6年生指導例【学級活動】	24
	3 中学校3年生指導例【学級活動】	28
	4 高等学校2年生指導例【保健体育科 科目保健】	35
VI	参考資料	
	1 小学校3年生紙芝居「ガンダーをやっつけろ!」内容・指導の留意点	40
	2 小学校3年生補助教材(ワークシート・事前事後アンケート)	44
	3 小学校6年生スライドショー「がん博士になろう!がんのひみつ」内容・指導の留意点	48
	4 小学校6年生補助教材(ワークシート・事前事後アンケート)	61
	5 中学校スライドショー「科学的ながんの知識 がんちゃんと学ぼう」内容・指導の留意点	67
	6 中学校補助教材(ワークシート・事前事後アンケート)	70
	7 高等学校DVD「保健サービスの活用～がん検診の大切さを考える～」内容・指導の留意点	76
	8 高等学校補助教材(ワークシート・事前事後アンケート・資料)	90
VII	香川県がん教育プログラム検討の経過	
	1 香川県がん教育プログラム検討会の設置	96
	2 香川県がん教育推進委員会の設置	100

学校における がん教育の推進の必要性

1 がん教育の必要性

健康について子どもの頃から教育することは重要であり、学校においては健康の保持増進と疾病予防の観点から、健康教育が行われてきました。現在「がん」については、生活習慣に起因することが多いことを学習していますが、「がん」そのものや、がん患者に対する理解を深める内容には至っていません。子どもだからこそ「がん」に対してマイナスの印象があると、やがて成人期には「がんは不治の病」という誤解や偏見につながってしまう可能性があります。

そのため、児童生徒は、学習活動を通して「がん」について正しい知識を学び、がんを予防するために自分たちができることを考え、実践できる能力を培い、「いのち」の大切さや身近ながん患者やその家族に対する思いやりの気持ちを育成する必要があります。

香川県では平成23年10月、がん対策を総合的に推進することを目的に議員提案による「香川県がん対策推進条例」（平成23年香川県条例第34号）が制定されました。条例の第14条に、「がん教育の推進」を定められています。

そこで、香川県では県教育委員会と連携を図り、香川県小・中・高等学校教育研究会の協力のもと、学校におけるがん教育の推進を図っていくこととなりました。

香川県がん対策推進条例（がん教育の推進）第14条

県は、学校関係者、保健医療関係者及び関係団体等と連携し、児童及び生徒が学習活動を通じてがんに対する理解及びがんの予防に関する知識を深めるために必要な施策を実施するよう努めるものとする。

第2次香川県がん対策推進計画

香川県では、平成25年3月に「第2次香川県がん対策推進計画」を策定し、教育現場におけるがん教育を推進することとし、平成29年度までにすべての中学校でがん教育を実施することを目標としています。

がん対策推進基本計画

国においては、平成24年3月に策定された「がん対策推進基本計画」に、分野別施策として「がん教育・普及啓発」が新しく盛り込まれ、健康と命の大切さについて学び、がんに対する正しい知識とがん患者に対する正しい認識を持つよう教育することを目標としています。

2 がんの現状

1 生涯でがんと診断される確率は2人に1人

日本人の2人に1人は、生涯のうちに何らかのがんにかかると予測されており、がんは全ての人のために身近な病気と言えます。

平成24年度香川県県政世論調査によると、本人（回答者）を含め、家族、親戚や親しい同僚などの身近な人でがんにかかった人が「いる」と答えた割合は8割を超えています。

2 香川県の死因1位は「がん」

昭和52年以降、他の疾病を大きく引き離して着実に増加しており、現在は年間約3,000人ががんで死亡しています。また、総死亡に占めるがんによる死亡の割合は、男性では50歳代から、女性では40歳代から高くなっており、特に50歳代は56.3%（平成24年）と半数以上の方ががんで亡くなっているなど、児童生徒の保護者世代にとって、がんは重大な疾患となっています。

3 がんは治らないからこわいというイメージが先行

平成24年度香川県県政世論調査によると、がんに対する印象について、「こわい・どちらかといえばこわいと思う」が全世代を通じて8割を超えています。「こわいと思う理由」として、77.5%が「治る確率が低いと思うから」と答えており、「がん=死」という印象から、がんに対する恐怖心が強くなっています。

4 がん対策はがん予防と検診による早期発見・早期治療が重要

がんは、たばこや食生活など生活習慣の改善によってある程度、予防することができる病気です。しかし、それらを心がければすべてがんを予防できるものではなく、生活習慣の改善とともに検診による早期発見・早期治療が重要です。

平成23年香川県民健康・栄養調査によると、84.9%が定期的に検診を受ける必要があると答えていますが、実際の検診受診率は20～30%と目標値の50%には到達しておらず、がんの予防行動が十分に実践されていません。そこで、がんを取り巻く現状や、がんについての科学的根拠に基づく正しい知識を習得することが必要とされています。

3 がん教育に関する課題の対応についての考え方

がん教育に関する課題の多くは、「がんは不治の病」というマイナスの印象と深くかかわっており、その要因には、がんのことを正しく理解していないことから起こる偏見や誤解が考えられます。

2人に1人が生涯のうちにがんにかかると言われていたことから、児童生徒が家族のがんの罹患を経験することは珍しくありません。そのような状況におけるがん教育の実施は、児童生徒の発達段階を踏まえるとともに、誰もがかかりうる疾患であるという前提で、家庭や地域の状況を把握し、適切に取り組む必要があります。

がん教育は、児童生徒の実態に即した指導の工夫や幅広い視点から適切な指導を行っていくことが必要とされています。

1 児童生徒の保護者ががん患者または、がんによって亡くなっている場合

実施にあたっては、保護者や児童生徒に対してあらかじめ予定されている指導内容を伝え、がん教育の目的の理解を図る必要があります。

授業中は、特に配慮が必要な児童生徒はもちろん、すべての児童生徒の様子を確認しながら進行する必要があり、ゲストティーチャーには配慮が必要な生徒の情報を伝えるなどの事前の打合せを行うことが考えられます。

2 小児がんの既往のある児童生徒が在籍の場合

このがん教育の内容は成人期のがんを対象としています。小児がんは成人期のがんとは成因や種類が大きく異なります。そのことを十分に理解し、小児がんに対する偏見につながらないような配慮が必要です。小児がんの既往のある児童生徒が在籍する場合は、事前に保護者に連絡を行い、指導内容を説明することが望まれます。

3 生活習慣とがんとの関連性について

生活習慣の改善によって、将来がんになる可能性を低くすることができますが、生活習慣以外のさまざまな要因も複雑に関係しており、完全に防げるわけではないことを踏まえ、がん患者に対する偏見につながらないような配慮が必要です。

4 がん検診の正しい理解

がん検診による早期発見・早期治療を推奨していますが、検診によってすべてのがんが見付けられるわけではないことを理解する必要があります。

II

学校における がん教育の基本的な考え方

1 学校におけるがん教育の目標

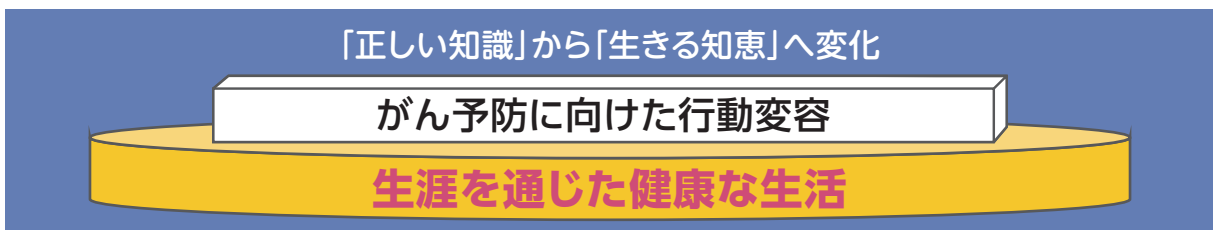
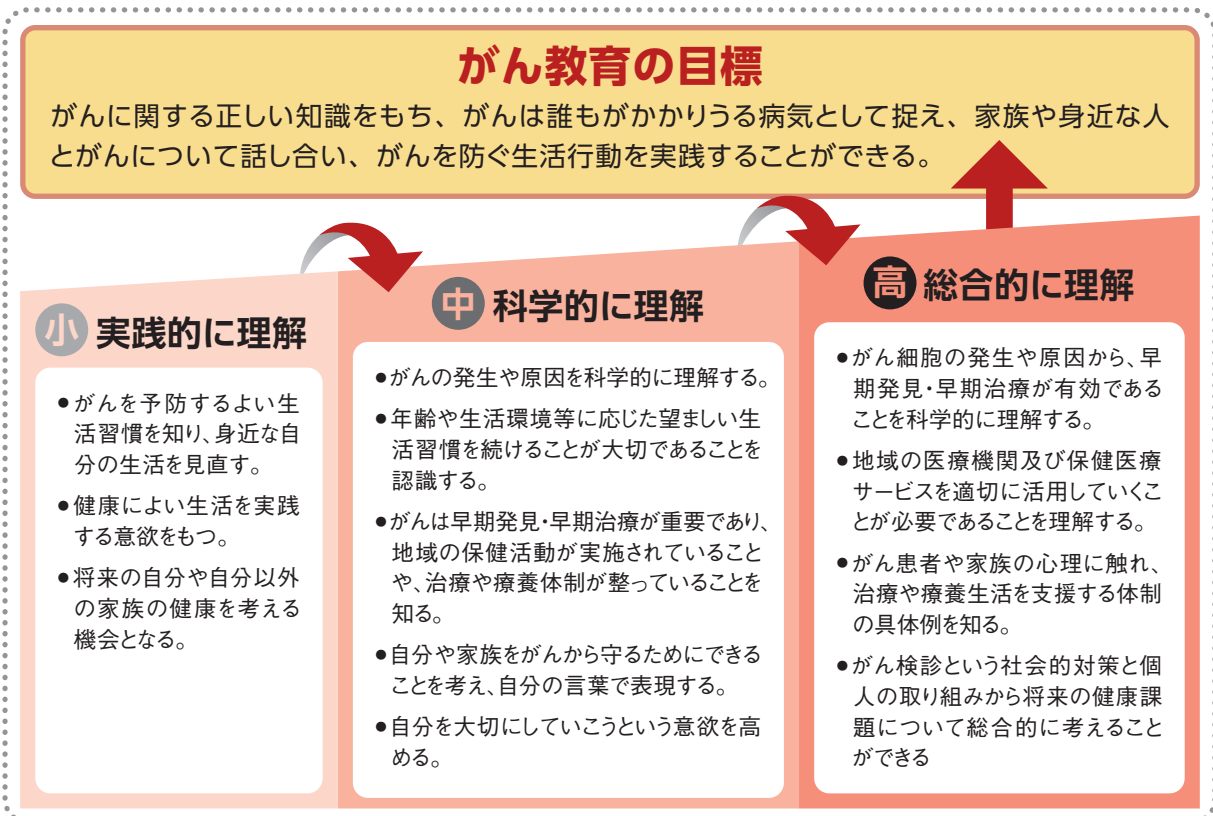
小学校から高等学校までの学習活動を通じて、がんに関する正しい知識をもち、がんは誰もがかかりうる病気として捉え、家族や身近な人とがんについて話し合い、がんを防ぐ生活行動を実践することができる。

- ① がんは身近な病気であることや、がんの発生と原因を科学的に理解する。
- ② がんと生活習慣の関連やその他の原因を理解し、がんを予防する具体的な生活習慣について自分の課題を見付ける。
- ③ 早期発見の有用性と保健・医療制度を知り、適切に活用していくことができる。
- ④ がんの予防や治療、療養生活を支える様々な職種の役割を知る。
- ⑤ がん患者の心や身体の変化を理解し、自分や家族ががん患者となった場合の対応を考えることができる。

2 発達段階に応じたがん教育のあり方

1 全体イメージ

がん教育は、がんというひとつの疾患に特化した指導です。保健学習や保健指導で学んだ知識を児童生徒自身が自分の生活と照らし合わせ、さらに自分の生活に具体化することで、「正しい知識」が「生きる知恵」に変わることをねらいとしています。



2 小学校における指導のあり方

小学校

3年生

自己の生活習慣に関心をもち、意欲的に日常生活や学習に取り組もうとする時期である。この時期に、毎日を健康に過ごすには、1日の生活リズムに合わせて、調和の取れた食事、適切な運動、休養及び睡眠をとることが必要であることを理解する。

がん教育では、がんを予防するよい生活習慣を知ることによって自分の生活を見直し、健康により生活を実践する意欲をもつことができるようにする。

6年生

自己の生活の充実と向上にかかわる問題に関心をもち、自主的に日常生活や学習に取り組もうとする時期である。また、高学年になると、喫煙や飲酒に興味をもつ児童も出てくる。

がん教育では、望ましい生活習慣について確認し、さらに、がんは生活習慣がすべての原因ではなく、その他の原因（病原体、体の抵抗力、環境など）があることを理解する。また、学校の検診と同じように、地域には保健活動としてがんを見つける検診が行われていることを理解する。

それらを理解した上で、毎日の生活習慣を見直し、自分たちができることを考え実践する意欲をもつことができるようにする。さらに将来の自分や自分以外の家族の健康も考えていくことにも触れるようにする。

3 中学校における指導のあり方

中学校

3年生

中学時代は、子どもから大人への過渡期であり、身体的・精神的に変化の激しい時期である。この時期に心身の機能や発達、心の健康について理解を深め、生涯を通じて積極的に健康の保持増進を目指す態度の育成に努めることが大切である。

がん教育では、がんの発生や原因を科学的に理解し、生涯を通じた健康の保持増進には、年齢や生活環境等に応じた望ましい生活習慣を続けることが必要であることを認識する。

また、がんは望ましい生活習慣だけでは予防できない個人の要因や環境、感染などその他の原因があることを理解する。予防できずにがんが発生した場合は、早期に発見することが重要であり、地域の保健活動として様々ながん検診が行われていることを理解する。また、がんの治療や療養生活を支える体制が充実していることを知る。

それらを踏まえ、がんを自分のこととして捉え、自分や家族をがんから守るためにできることを考え、自分の言葉で表現できるようにする。がん教育を通して「いのち」の尊さを学び、自分を大切にすることができる。

4 高等学校における指導のあり方

高等学校

2年生

高校時代は、個人生活及び社会生活における健康・安全について総合的に理解することで、現在及び将来の生活において、自らの健康管理や健康的な生活行動の選択及び、健康的な社会環境づくりなどが実践できるようになるための基礎としての資質や能力を育成する時期である。

がん教育では、がんの発生や原因から、早期発見・早期治療が有効であることを科学的に理解する。また、地域の医療機関及び保健医療サービスなどを適切に活用していくことが必要であることを理解する。

肺がんになった患者と家族の体験談を通じて、がんの治療や療養生活を支える体制や様々な保健活動や対策などの具体例を知る。その際、がん患者とその家族の心や体の変化に触れ、疾病の症状や有無のみを重視するのではなく、生活の質や生き甲斐を重視した健康のあり方について知る。

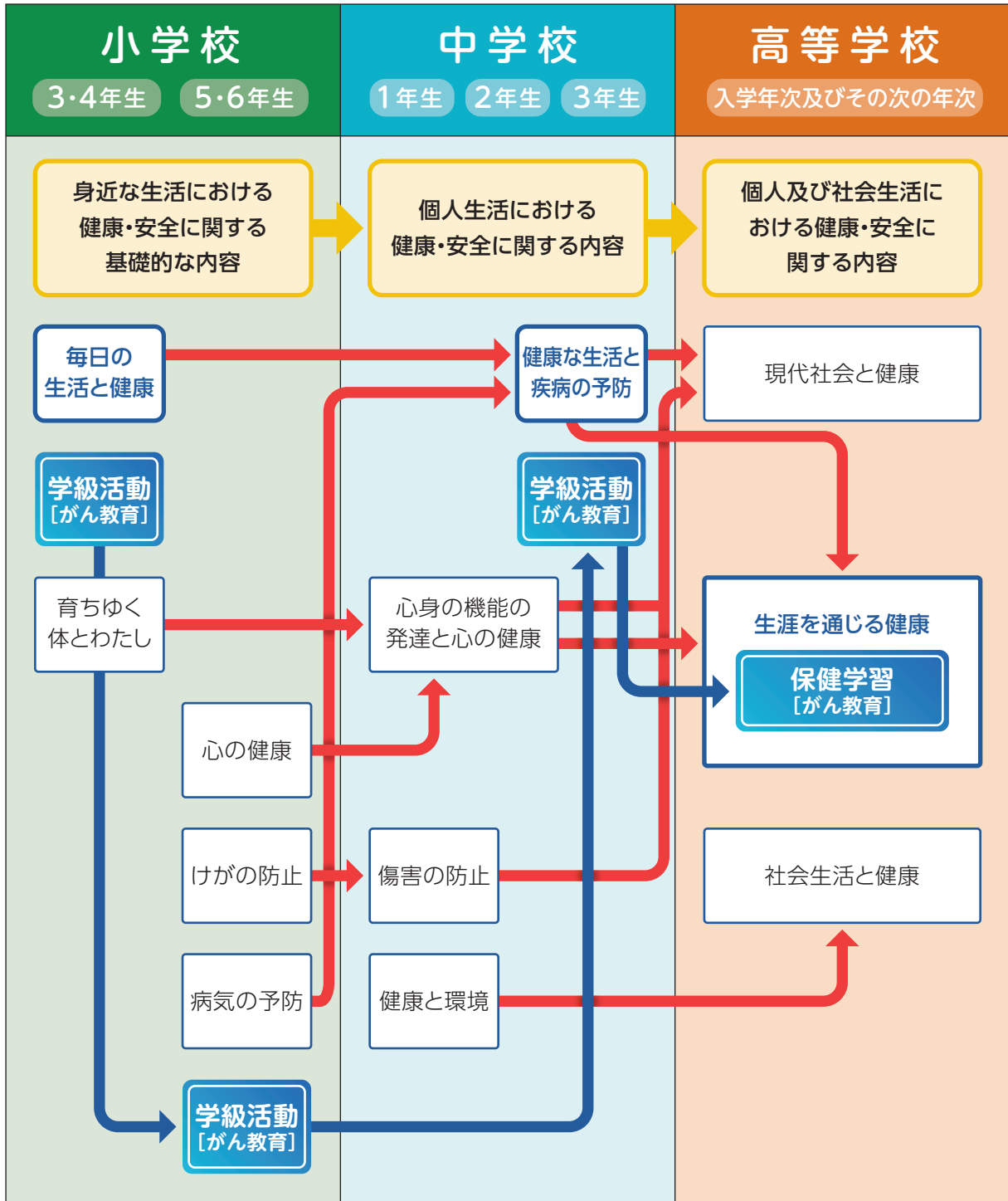
それらを踏まえ、がん検診という社会的対策と検診を受ける個人の取り組みから将来の健康課題について総合的に考えることができるようにする。



学習指導要領に関する資料

1 がん教育と保健学習内容の系統性

効果的ながん教育を実施するためには、現行の学習指導要領に基づき、小中高等学校の保健学習を踏まえて、がん教育を行う必要があります。



(参考:「生きる力」を育む小学校保健教育の手引き/文部科学省)

2 特別活動・学級活動におけるがん教育の関連性

1 小学校

小3年生・小6年生：特別活動・学級活動	
目標	学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。
内容	3年生 学級を単位として、協力し合って楽しい学級生活をつくるとともに、日常生活や学習に意欲的に取り組もうとする態度の育成に資する活動を行う。
	6年生 学級を単位として、信頼し支え合って楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるとともに、日常生活や学習に主体的に取り組もうとする態度の向上に資する活動を行う。
共通	<p>(2) 日常生活や学習への適応及び健康安全</p> <p>カ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成</p> <p>児童が自分の健康状態について、関心をもち、身近な日常生活における健康の問題を自ら見付け、自分で判断し、処理できる能力や態度を育成する。</p>

2 中学校

中3年生：特別活動・学級活動	
目標	学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。
内容	<p>(2) 適応と成長及び健康安全</p> <p>人間の諸活動の基礎となる健康安全や食を中心として、現在及び将来において生徒が当面する諸課題に対応するとともに、生徒自ら健全な生活態度や習慣の形成をはかっていく資質や能力を育成する。</p> <p>キ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成</p> <p>生徒の学年や発達の段階も踏まえて題材を設定し、身近な視点からこれらの問題を考え意見を交換できるような話し合いや討論、実践力の育成につながるロールプレイングなどの方法を活用して展開していくことが考えられる。こうした活動を通して、自らの健康状態について理解と関心を深め、望ましい生活態度や習慣の形成をはかっていくことが望まれる。</p>

3 高等学校保健体育編・体育編におけるがん教育の関連性

高2年生：保健体育科 科目保健	
目 標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。
内 容	<p>(2)生涯を通じる健康</p> <p>生涯の各段階において健康についての課題があり、自らはこれに適切に対応する必要があること及び我が国の保健・医療制度や機関を適切に活用することが重要であることについて理解できるようにする。</p> <p>イ 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関</p> <p>生涯を通じて健康の保持増進をするには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要である。</p>

4 各教科とがん教育の関連性

1 小学校

教科	内容
体育・保健体育科	保健領域：第3学年 (1) 毎日の生活と健康 健康の大切さを認識するとともに、健康によい生活について理解できるようにする。 ア 心や体の調子が良いなどの健康の状態は、主体の要因や周囲の環境の要因がかかわっていること。 イ 毎日を健康に過ごすには、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、また、体の清潔を保つことなどが必要であること。
	保健領域：第6学年 (3) 病気の予防 病気の予防について理解できるようにする。 ア 病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境がかかわり合って起こること。 イ 病原体が主な要因となって起こる病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めることが必要であること。 ウ 生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、栄養の偏りのない食事をとること、口腔の衛生を保つことなど、望ましい生活習慣を身に付ける必要があること。 エ 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となること。 オ 地域では、保健にかかわる様々な活動が行われていること。
家庭科	第5学年 B 日常の食事と調理の基礎 (2) 栄養を考えた食事 ア 体に必要な栄養素の種類と働きについて知ること。 食事に含まれる栄養素が体の成長や活動のもとになることに関心をもち、栄養を考えて食事をとることの大切さが分かるようにする。
理科	第4学年 B 生命・地球 (1) 人の体のつくりと運動 人や他の動物の体の動きを観察したり資料を活用したりして、骨や筋肉の動きを調べ、人の体のつくりと運動とのかかわりについて考えをもつことができるようにする。
	第5学年 B 生命・地球 (2) 動物の誕生 魚を育てたり人の発生についての資料を活用したりして、卵の変化の様子や水中の小さな生物を調べ、動物の発生や成長について考えをもつことができるようにする。
	第6学年 B 生命・地球 (1) 人の体のつくりと働き 人や他の動物を観察したり資料を活用したりして、呼吸、消化、排出及び循環の働きを調べ、人や他の動物の体のつくりと働きについて考えをもつことができるようにする。
道徳	第1学年及び第2学年 1 主として自分自身に関すること。 (1) 健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。 3 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること。 (1) 生きることを喜び、生命を大切にすることを。
	第3学年及び第4学年 3 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること。 (1) 生命の尊さを感じ取り、生命のあるものを大切にする。 (2) 自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切にする。
	第5学年及び第6学年 1 主として自分自身に関すること。 (1) 生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛ける。

2 中学校

教科	内容
体育・保健体育科	<p>保健領域：第3学年</p> <p>(4) 健康な生活と疾病の予防 健康な生活と疾病の予防について理解を深めることができるようにする。</p> <p>ア 健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。また、疾病は、主体の要因と環境の要因がかかり合って発生すること。</p> <p>イ 健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があること。また、食事の量や質の偏り、運動不足、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れは、生活習慣病などの要因となること。</p> <p>ウ 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因となること。また、これらの行為には、個人の心理状態や人間関係、社会環境が影響することから、それぞれの要因に適切に対処する必要があること。</p> <p>エ 感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること。</p> <p>オ 健康の保持増進や疾病の予防には、保健・医療機関を有効に利用することがあること。また、医療費は、正しく利用すること。</p> <p>カ 個人の健康は、健康を保持増進するための社会の取り組みと密接なかわりがあること。</p>
家庭科	<p>第1学年</p> <p>B 食生活と自立</p> <p>(1) 中学生の食生活と栄養</p> <p>ア 自分の食生活に関心を持ち、生活の中で食事が果たす役割を理解し、健康によい食習慣について考えること。</p> <p>イ 栄養素の種類と働きを知り、中学生に必要な栄養の特徴について知ること。</p>
理科	<p>第2分野：第3学年</p> <p>(5) 生命の連続性 身近な生物について観察、実験を通して、生物の成長と殖え方、遺伝現象について理解させるとともに、生命の連続性について認識を深める。</p> <p>ア 生物の成長と殖え方</p> <p>イ 遺伝子の規則性と遺伝子</p>
道徳	<p>1 主として自分自身に関すること。</p> <p>(1) 望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け調和のある生活をする。</p> <p>3 主として自然や崇高なものとのかわりに関すること。</p> <p>(1) 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。</p>

3 高等学校

教科	内容
保健体育	<p>保健：第1学年</p> <p>(1) 現代社会と健康</p> <p>我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする。</p> <p>ア 健康の考え方 イ 健康の保持増進と疾病の予防</p>
	<p>保健：第2学年</p> <p>(2) 生涯を通じる健康</p> <p>生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があること及び我が国の保健・医療制度や機関を適切に活用することが重要であることについて理解できるようにする。</p> <p>ア 生涯の各段階における健康 イ 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 (ア) 我が国の保健・医療制度 (イ) 地域の保健・医療機関の活用 ウ 様々な保健活動や対策</p>
家庭	<p>家庭基礎：第1学年・第2学年</p> <p>(2) 生活の自立及び消費と環境</p> <p>ア 食事と健康</p>
理科	<p>生物基礎：第1学年</p> <p>(1) 生物と遺伝子</p> <p>生物と遺伝子について観察、実験などを通して探求し、細胞の働き及びDNAの構造と機能の概要を理解させ、生物についての共通性と多様性の視点を身に付けさせる。</p> <p>イ 遺伝子とその働き</p> <p>(2) 生物の体内環境の維持</p> <p>生物の体内環境の維持について観察、実験などを通して探求し、生物には体内環境を維持する仕組みがあることを理解させ、体内環境の維持と健康との関係について認識させる。</p> <p>ア 生物の体内環境</p>
	<p>理科「生物」：第2学年・第3学年</p> <p>(1) 生命現象と物質</p> <p>生命現象を支える物質の働きについて観察、実験などを通して探求し、たんぱく質や核酸などの物質の働きを理解させ、生命現象を分子レベルでとらえさせる。</p> <p>ウ 遺伝情報の発現</p>

IV

学校における がん教育の進め方

1 香川県版がん教育プログラムの特徴

1 小・中・高等学校積み上げ型プログラム

小学校では3年生と6年生を対象とし、学級活動として位置付け、3年生ではがんという疾患を通じて、健康の大切さを認識させます。6年生は、がんの原因などから生活習慣の課題を見付け、健康で安全な生活態度の形成を図ることを目的とした内容としています。中学校では3年生の学級活動として位置付け、がんの予防や早期発見の有用性、さらに治療に関することを学び、望ましい生活態度や習慣の形成を図ることを目的とします。各学校・学年とも保健学習との関連をもたせた教材と指導内容になっています。高等学校では2年生を対象とし、保健体育科(科目保健)に位置付け、がん対策に関する保健・医療制度を学びます。さらに、がん患者と家族の体験談を通じて患者への理解を深め、生涯を通じた自己の健康を管理する能力を育成することを目的とした内容としています。

2 1時間完結型授業

発達段階に応じ、医学用語を適切に表現した教材を用い、がんの正しい知識を1時間で学習します。中学校のプログラムは、専門家を派遣し学級担任とのチームティーチングによる授業としています。

また、家庭との連携を目的に授業参観としての実施や、患者体験談による「いのちの授業」としても展開できます。

3 自分のこととして考える学習内容

統計的な視点から香川県の現状を学び、がんは身近な健康課題であることを確認します。自分自身の生活習慣に関心を持ち、がんを予防するために、自分ができることを主体的に考え、さらに大切な人の命を守るためにできることを考える学習内容としています。

4 親世代への検診受診アクション

学習を通じて学んだことを自分の言葉として家族に伝えることにより、家庭内の意識向上を期待し、健康課題に取り組む実践力を培います。家庭や地域社会でお互いに手をたずさえ、がんと向かい合う香川県の実現を目指します。

2 指導の内容

- ① がんに関する正しい知識の普及
- ② がん予防のための生活習慣の改善
- ③ 早期発見、早期治療の大切さ
- ④ 地域の保健・医療体制を知る
- ⑤ 命の大切さを学ぶ
- ⑥ がん医療やがん対策にかかわる専門職の役割
- ⑦ 家庭で取り組むがん予防

3 教材の構成

	視聴覚教材		補助教材		
			ワークシート	事前事後アンケート	その他
小学校	3年生	紙芝居 「ガンダーをやっつけろ!」	○	○	板書用掲示物
	6年生	スライドショー 「がん博士になろう! がんのひみつ」	○	○	板書用掲示物
中学校	スライドショー 「科学的ながんの知識 がんちゃんと学ぼう」 DVD 「がんちゃんの冒険」 (日本対がん協会)		○	○	板書用掲示物
高等学校	DVD 「保健サービスの活用 ～がん検診の大切さを考える～」		○	○	生徒用資料

4 がん教育の指導計画及び指導体制

1 指導計画作成について

がん教育を効果的、円滑に実施するためには、年度当初から年間計画の中に位置付けておく必要があります。年間計画には、実施する学年における具体的な指導計画の内容や関連事項、さらに家庭や地域社会との連携についても計画しておく必要があります。

2 指導体制について

がん教育を適切かつ円滑に進めるためには、全教職員の共通理解を得て、適切な指導体制を整える必要があります。学校においては、その規模や実態に応じた役割分担を行うとともに、相互の連携・協力を図ることが必要です。実施にあたっては、児童生徒のがんに関する知識や意識の観察を行い、家庭や地域関係機関などからの情報等を収集・把握することも必要です。教職員の理解や情報の共有を図るためには、がん教育に関する研修会への参加、研究協議の場や機会を設定するなどが考えられます。

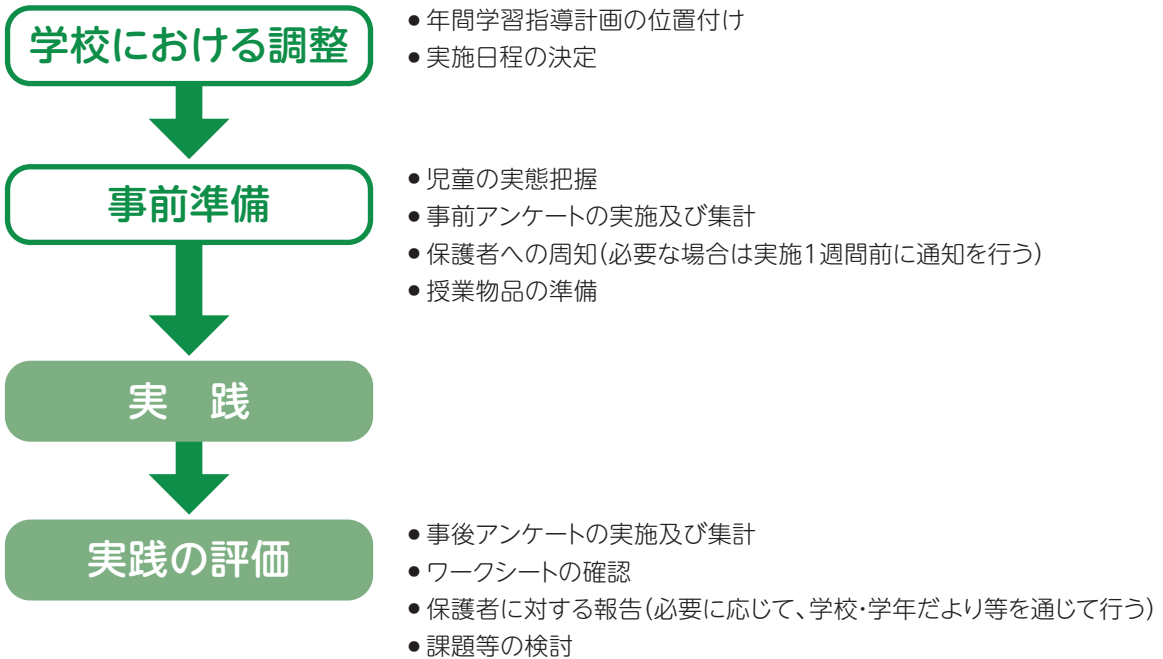
教職員が共通理解を図る事項

- 1 がん教育の意義や目標
- 2 児童生徒のがんに関する知識や意識
- 3 家庭や地域関係者などの情報
- 4 学校保健の目標及び目標との関連事項
- 5 がん教育の指導学年における指導計画の内容や関連
- 6 各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間との関連
- 7 指導組織と各教職員の役割
- 8 家庭、地域との連携の進め方

5 実施に向けた手順

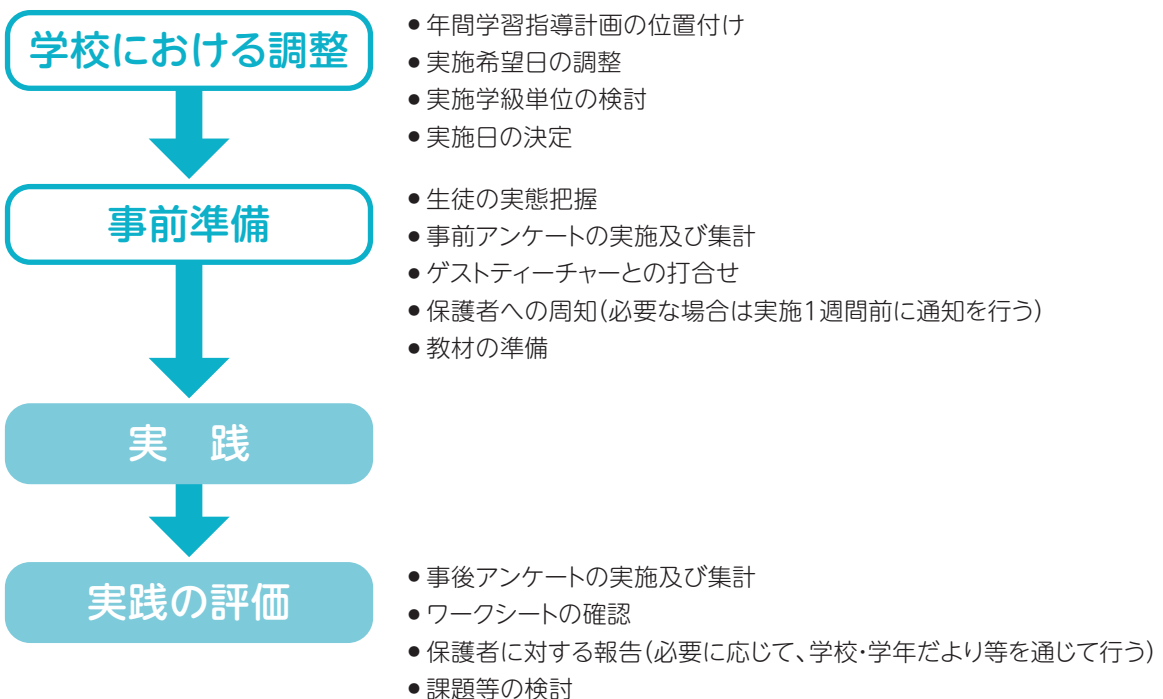
1 小学校

小学校におけるがん教育を実施するためには、年間学習指導計画に位置付け、児童の実態把握や指導体制の調整など、それぞれの学校の状況を踏まえた手順で行う必要があります。



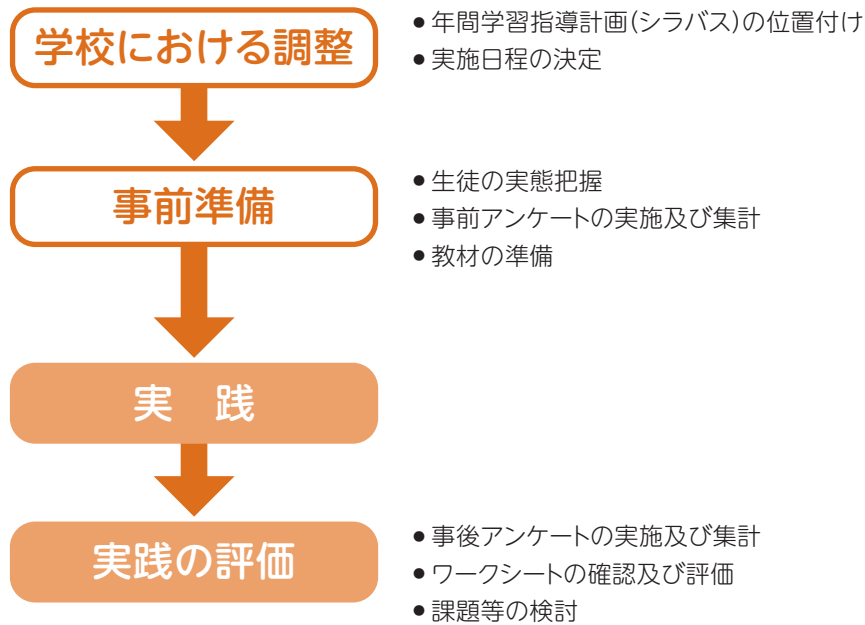
2 中学校

中学校については、年間学習指導計画に位置付け、生徒の実態把握や指導体制を検討し、実施希望日等の調整を行います。実施日について所定の手続きに従い日程調整を行います。



3 高等学校

高等学校におけるがん教育を実施するためには、保健体育科科目保健の年間学習指導計画(シラバス)に位置付け、事前に生徒の実態把握を行い実施します。



6 教材活用の留意事項

1 教材の取扱いについて

香川県版がん教育プログラムに基づく各種教材は、専門家の意見を踏まえ、科学的根拠に基づく指導内容としています。紙芝居やスライド等の順番の入れ替えや削除は教育そのものの目的に影響を与える恐れがあるため控えて下さい。

ただし、児童生徒の家庭等の実態により指導内容の調整が必要であると判断した場合は、スライド等のねらいに影響しない範囲で変更することは可能です。

2 授業者のがん治療体験等について

実施にあたって、授業者のがん治療体験等を取り入れることは、わかりやすい授業を展開するために有効な手段と言えますが、一方で個人的な体験談や感想は、科学的根拠に乏しい場合があることから授業への活用については慎重に行うべきです。

7 家庭・地域社会との連携

がん教育の目標とすべき姿を達成するには、学校と家庭の相互の連携が大切です。学級・学年・学校通信等の活用や授業参観の計画によって保護者の理解を促し、がんを防ぐ生活習慣を家庭全体で取り組むことができるように働きかけることが重要です。

1 (地域)学校保健委員会の活用

がんの予防をきっかけとし、健康づくりを推進するために、異校種間の連携や学校・家庭・地域と関係機関の連携を図り、(地域)学校保健委員会を活用することが必要であると考えられます。

8 正しい情報収集と相談機関の活用

1 がんに関する正しい情報収集

本教材は、専門家のご指導のもと、最新の情報を参考に作成しています。しかし現在、がん予防に関する疫学研究やその他様々ながんに関する研究が進められていることから、今後、新しい情報が更新されることが予測されます。常に最新の正しい情報収集と活用が必要とされています。新しい情報やそれによる指導内容の変更については、適宜「香川県がん対策ホームページ・がん教育」の項目に情報を提供していきませんが、下記の情報検索先も参考にして下さい。

香川県がん対策ホームページ

<http://www.pref.kagawa.lg.jp/kenkosomu/cancer>

国立がん研究センター がん対策情報センター情報サービス

<http://ganjoho.jp/public/index.html>

小児がんについて 冊子「小児がんシリーズ」を参照

http://ganjoho.jp/public/qa_links/brochure/child.html

生活習慣改善によるがん予防法の開発に関する研究

http://epi.ncc.go.jp/cgi-bin/cms/public/index.cgi/nccepi/can_prev/outcome/index

2 相談機関の活用

がん教育の実施に関するお問合せは、下記までご連絡下さい。

香川県庁健康福祉総務課 がん糖尿病対策・健康づくりグループ

電話 087-832-3261

がん医療に関するお問合せは、下記までご連絡下さい。

香川大学医学部附属病院 がん診療相談支援室

電話 087-891-2473 (直通)

1 小学校3年生 指導例【学級活動】

学級活動学習指導案

1 本時の学習指導

① 題材名「紙芝居 ガンダーをやっつけろ!」

② 本時の目標

「体の力をパワーアップするひみつを見つけよう。」

- 体の中には病気を防ぐ働きがあることを知る。
- がんについて知り、がんの予防には野菜摂取や運動、休養、及び睡眠等の生活習慣を子どもの頃から整えることが重要であることを理解する。
- 生涯にわたり健康な生活を送ろうとする意欲が高まり、問題解決の方法を考えたり判断したりすることができる。

③ 本時の指導にあたって

- 児童ががんについて興味をもてるような導入を工夫する。
- 児童ががんは怖い病気というイメージを持たないように配慮する。
- 児童が自身の生活と照らし合わせて考えることができるよう工夫をする。

④ 準備物

教師 紙芝居、ワークシート、事前事後アンケート、板書用掲示物

児童 筆記用具、小学校体育科保健用教科書

⑤ 板書計画

学 体の力をパワーアップするひみつを見つけよう。



ガンダー
(がん)





発見めがね
(がんけんしん)



ナオスくん
しゅうり



ソウキくん
たたかう

↓
パワーアップする



ミニガンダー
(がんのもと)

ミニガンダー ナオスくん
しゅうり

↓ 集まる

ガンダー えいようを
とる

明るい
ところ

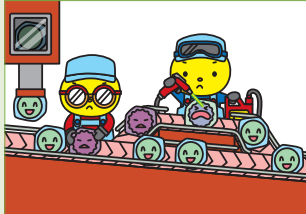

体の力をパワーアップする方法


- 野菜
- 運動
- 手洗い
- 早寝早起き
- すいみん
- 休けい



6 本時の展開 (45分)

	学習活動	○発問助言等 ■予想される児童の反応	教師の支援活動
導入 3分	<p>1 本時の学習内容について確認する。</p> <p>2 学習課題をつかむ。</p>  <p style="text-align: center; border: 1px solid #ccc; border-radius: 10px; padding: 2px;">紙芝居の表紙</p>	<p>○保健で学習したように体が健康であれば、明るく人と接することができて、充実した生活を送ることができますね。みなさんの体の中には病気をやっつける力があります。</p> <p>○病気の中にがんという病気があります。がんはガンダーが大きくなると起こる病気です。がんは体に必要な栄養を奪う困った病気です。</p> <p>○今から見る紙芝居の中にはがんをやっつけるために体の力をパワーアップする秘密が隠れているので見つけましょう。</p>	<p>○保健学習で高めた「健康な生活を送りたい」という気持ちを思い出すように支援する。</p> <p>○今日はがんについて知り、自分の生活を見直すことを確認する。</p> <p>○自分の生活と同じところと違うところを見つけながら紙芝居を見るように助言をする。</p> <p>○紙芝居の表紙を見せる。</p>
<p>体の力をパワーアップするひみつを見つけよう。</p>			
展開 12分	<p>3 紙芝居を見てがんを理解し、予防するための方法を知る。</p> <p>① 登場人物を知る。</p> <p>② 紙芝居の途中でクイズを解く。</p> <p>③ 紙芝居の続きを見る。</p> <p style="background-color: #28a745; color: white; padding: 2px; border-radius: 10px; display: inline-block;">紙芝居の主な内容</p> <div style="border: 1px dashed #ccc; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>•がん細胞は毎日生まれるがナオスくんやソウキくんがやっつける。そのパワーは、食事や運動などのよい生活習慣で強くなる。</p> </div>	<p style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">登場人物を黒板に貼る。</p> <p>○登場人物を紹介します…</p> <p>○(登場人物の紹介の後)</p> <p>ナオスくとソウキくんが体の力です。どうやって強くなっていったかを見つめながら紙芝居を見ましょう。</p> <p style="background-color: #e67e22; color: white; padding: 2px; border-radius: 10px; display: inline-block;">紙芝居に出てくるクイズ</p> <div style="border: 1px dashed #ccc; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>1 野菜を食べなくてもすきなうどんや肉をしっかり食べていれば健康でいられる。✕</p> <p>2 運動はきらいなら、しなくてもよい。✕</p> <p>3 健康な人の体内でもがん細胞(ミニガンダー)ができる。○</p> </div> <p style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 5px;">野菜を食べることや、適度な運動をすることでガンダーをやっつけられた。</p>	<p>○登場人物を紹介する。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;">  <p>ガンダー (がん)</p> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;">  <p>ミニガンダー (がんの素)</p> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;">  <p>ナオスくんと ソウキくん (体の力)</p> </div> <p>○紙芝居を読む。</p> <p>○クイズ3問は紙芝居の途中に出てくるがせりふの通り先へ進む。</p> <p>○家族にがん患者がいる児童に配慮する。万一授業の途中で児童の気分が悪くなった場合は、教室を出て休ませるなどの対応をする。また、食事や運動ができていなかったからがんになった等、患者を責めることがないように配慮する。</p>

	学習活動	○発問助言等 ■予想される児童の反応	教師の支援活動
5分	<p>4 がんについての知識と予防法をワークシートで確認する。</p> <p>① ワークシートの1と2を記入する。</p>	<p>○体の力をパワーアップする秘密がわかりましたか。紙芝居の内容をもう一度ワークシートに書きながら振り返ってみましょう。</p> <p>○1の□1の中に○か×を書きます。正解は… 2の問題は下の□の中の言葉を選びます…正解は…</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>ミニガンダー・集まる・ガンダー・えいようをとる・ナオスくんしゅうりを黒板に貼る。</p> </div>	<p>○ワークシートを配る。</p> <p>○紙芝居の内容を確認しながら知識を深める。</p> <p>○ワークシートの1と2は時間をかけない。正解を伝えながら進める。</p>
5分	<p>② がんが発生する仕組みとナオスくん・ソウキくんの働きを確認する。</p>  <p>紙芝居⑪</p>	<p>○では、紙芝居の絵を見て、体の力の仕組みを確かめましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>紙芝居⑪を貼る。</p> </div> <p>○人間の体の中では毎日体の素が作られますが、時々ミスコピーでミニガンダーが生まれます。（紙芝居を指しながら）でも、ナオスくんが修理をしてくれます。修理されなかったミニガンダーはソウキくんが戦ってやっつけます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>しゅうり・たたかうを黒板に貼る。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>体の中には誰にも病気をやっつける力がある。その力をパワーアップしたい。</p> </div>	<p>○紙芝居⑪の図を利用して、健康な人の体の中にも毎日がん細胞ができていたりや免疫機能の仕組みの大切さを説明する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>解説</p> <ul style="list-style-type: none"> 体内では毎日体の素(=細胞)が作られる。 体内で毎日ミニガンダー(=がん細胞)が発生するがナオスくん(=がん細胞になるのをおさえる遺伝子)が修理してくれる。 ナオスくんが修理できない場合はソウキくん(=免疫)が闘う。 </div>
3分	<p>③ 体の中のナオスくんやソウキくんをパワーアップさせる方法を考える。</p>  <p>紙芝居⑭</p> <p>① グループでブレインストーミングをする。</p>	<p>○ナオスくんやソウキくんが強くなるとミニガンダーをやっつけられそうですね。その方法を紙芝居や保健の本の中から見つけましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>紙芝居⑭を貼る。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>パワーアップすると体をパワーアップする方法を黒板に貼る。</p> </div> <p>○4人グループになり、パワーアップする方法を一人ずつ順番に何回も発表しましょう。一人が配られた紙にメモをします。保健の本を調べてもいいです。</p>	<p>○紙芝居⑭のソウキくんは最初より大きくなっていることに気付かせ、がんを予防したいという気持ちをふくらませる。</p> <p>○紙芝居で見つけたことや保健で学習した心と体の健康についての知識を活用して考えるように助言をする。</p> <p>○保健の教科書を見ながらグループで考えるよう伝える。ブレインストーミングの時はグループで1枚の紙にメモを取らせる。(白い紙を配布)</p>

7分	②全体交流をする。	○机を前に向けて、見つけた事を発表しましょう。	○地産の新鮮な野菜をつかったバランスのよい食事は免疫力をあげる力が強い事を伝える
3分	③ワークシート3に板書のまとめを書き写す。	<div data-bbox="703 353 1002 421" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">野菜の絵などを黒板に貼っていく。</div> <div data-bbox="703 443 1002 488" style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> 大切な知識 板書 </div> <div data-bbox="703 499 1002 846" style="border: 1px dashed orange; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ●野菜をたくさん食べる。 (特に地元で取れた野菜) ●赤、緑、黄色のバランスが取れた食事 ●魚を食べる ●肉はほどほどに ●汗をかく運動 ●早寝・早起き ●明るい心 </div>	○睡眠は体を治す働きがあると補説する。
2分	5 早期発見の大切さを確認する。 ●むし歯の予防・歯科検診、早期治療とつないで考える。 ワークシート4	○黒板にまとめたガンダーをやっつける方法をワークシートの3に書きましょう。	○明るい心で生活することでミニガンダーの数が減ることを伝える。
2分	5 早期発見の大切さを確認する。 ●むし歯の予防・歯科検診、早期治療とつないで考える。 ワークシート4	<div data-bbox="703 533 1002 600" style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> 保健で勉強したことが使えるんだ。パワーアップする方法が分かったよ。 </div>	○発表の意見を聞きながら、ガンダーをやっつける方法と他の方法を分けて板書する。
2分	5 早期発見の大切さを確認する。 ●むし歯の予防・歯科検診、早期治療とつないで考える。 ワークシート4	<div data-bbox="703 622 1002 689" style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> もし、がんになっても検診をして早く発見すれば治ることが多いから、むし歯もがんも検診が大切だ。 </div>	○むし歯予防と比べながら 早期発見の大切さを説明する。
2分	5 早期発見の大切さを確認する。 ●むし歯の予防・歯科検診、早期治療とつないで考える。 ワークシート4	<div data-bbox="703 712 1002 779" style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> 発見めがねを貼る。 </div>	○むし歯も放置すると大きくなり大変困る。 <div data-bbox="1066 779 1161 891" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1169 779 1385 891" style="border: 1px solid #f96; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;"> 発見めがね=がん検診 </div>
2分	5 早期発見の大切さを確認する。 ●むし歯の予防・歯科検診、早期治療とつないで考える。 ワークシート4	<div data-bbox="703 801 1002 869" style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> 健康チェックカードを見ると、自分の生活では～～に気をつけて体の力をパワーアップすることが大切だ。家の人も一緒に体の力をパワーアップしていきたいな。 </div>	○むし歯も放置すると大きくなり大変困る。
2分	5 早期発見の大切さを確認する。 ●むし歯の予防・歯科検診、早期治療とつないで考える。 ワークシート4	<div data-bbox="703 891 1002 958" style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> 健康チェックカードを見ると、自分の生活では～～に気をつけて体の力をパワーアップすることが大切だ。家の人も一緒に体の力をパワーアップしていきたいな。 </div>	○発見めがね=がん検診
2分	5 早期発見の大切さを確認する。 ●むし歯の予防・歯科検診、早期治療とつないで考える。 ワークシート4	<div data-bbox="703 981 1002 1048" style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> 健康チェックカードを見ると、自分の生活では～～に気をつけて体の力をパワーアップすることが大切だ。家の人も一緒に体の力をパワーアップしていきたいな。 </div>	○各自の健康チェックカードを見直しながら、 次の生活のめあてを持たせる。
2分	5 早期発見の大切さを確認する。 ●むし歯の予防・歯科検診、早期治療とつないで考える。 ワークシート4	<div data-bbox="703 1070 1002 1137" style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> 健康チェックカードを見ると、自分の生活では～～に気をつけて体の力をパワーアップすることが大切だ。家の人も一緒に体の力をパワーアップしていきたいな。 </div>	○黒板に書いてあるポイントの言葉を使って文を書くように助言をし、自分も家族も免疫を強くする生活を送ろうという意欲を高める。
2分	5 早期発見の大切さを確認する。 ●むし歯の予防・歯科検診、早期治療とつないで考える。 ワークシート4	<div data-bbox="703 1160 1002 1227" style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> 健康チェックカードを見ると、自分の生活では～～に気をつけて体の力をパワーアップすることが大切だ。家の人も一緒に体の力をパワーアップしていきたいな。 </div>	○家の人からの返事を書いてもらうことで家庭での意識を高める。 ワークシート6は宿題。
2分	5 早期発見の大切さを確認する。 ●むし歯の予防・歯科検診、早期治療とつないで考える。 ワークシート4	<div data-bbox="703 1249 1002 1317" style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> 健康チェックカードを見ると、自分の生活では～～に気をつけて体の力をパワーアップすることが大切だ。家の人も一緒に体の力をパワーアップしていきたいな。 </div>	○家の人からの返事を書いてもらうことで家庭での意識を高める。
2分	5 早期発見の大切さを確認する。 ●むし歯の予防・歯科検診、早期治療とつないで考える。 ワークシート4	<div data-bbox="703 1339 1002 1406" style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> 健康チェックカードを見ると、自分の生活では～～に気をつけて体の力をパワーアップすることが大切だ。家の人も一緒に体の力をパワーアップしていきたいな。 </div>	○ワークシート6は宿題。
2分	5 早期発見の大切さを確認する。 ●むし歯の予防・歯科検診、早期治療とつないで考える。 ワークシート4	<div data-bbox="703 1429 1002 1496" style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> 健康チェックカードを見ると、自分の生活では～～に気をつけて体の力をパワーアップすることが大切だ。家の人も一緒に体の力をパワーアップしていきたいな。 </div>	○ワークシート6は宿題。
2分	5 早期発見の大切さを確認する。 ●むし歯の予防・歯科検診、早期治療とつないで考える。 ワークシート4	<div data-bbox="703 1518 1002 1585" style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> 健康チェックカードを見ると、自分の生活では～～に気をつけて体の力をパワーアップすることが大切だ。家の人も一緒に体の力をパワーアップしていきたいな。 </div>	○ワークシート6は宿題。
2分	5 早期発見の大切さを確認する。 ●むし歯の予防・歯科検診、早期治療とつないで考える。 ワークシート4	<div data-bbox="703 1608 1002 1675" style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> 健康チェックカードを見ると、自分の生活では～～に気をつけて体の力をパワーアップすることが大切だ。家の人も一緒に体の力をパワーアップしていきたいな。 </div>	○ワークシート6は宿題。
2分	5 早期発見の大切さを確認する。 ●むし歯の予防・歯科検診、早期治療とつないで考える。 ワークシート4	<div data-bbox="703 1697 1002 1765" style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> 健康チェックカードを見ると、自分の生活では～～に気をつけて体の力をパワーアップすることが大切だ。家の人も一緒に体の力をパワーアップしていきたいな。 </div>	○ワークシート6は宿題。
2分	5 早期発見の大切さを確認する。 ●むし歯の予防・歯科検診、早期治療とつないで考える。 ワークシート4	<div data-bbox="703 1787 1002 1854" style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> 健康チェックカードを見ると、自分の生活では～～に気をつけて体の力をパワーアップすることが大切だ。家の人も一緒に体の力をパワーアップしていきたいな。 </div>	○ワークシート6は宿題。

評価

- ・免疫の存在を知り、その力を強くするためには健康な生活を送ることが大切であることが分かったか。
- ・自分の生活を振り返り、今後自分が何に気をつけていけばいいのかを考えることができたか。

2 小学校6年生 指導例【学級活動】

学級活動学習指導案

1 本時の学習指導

① 題材名「がん博士になろう! がんのひみつ」

② 本時の目標

「がんについて知り、予防するために自分のできることを考えよう」

- がんの原因を知り、がんは、予防できる病気であることを理解する。
- がん予防のために、自分でできることを考え、よい生活習慣や家族への呼びかけを実践する意欲を持つことができる。

③ 本時の指導にあたって

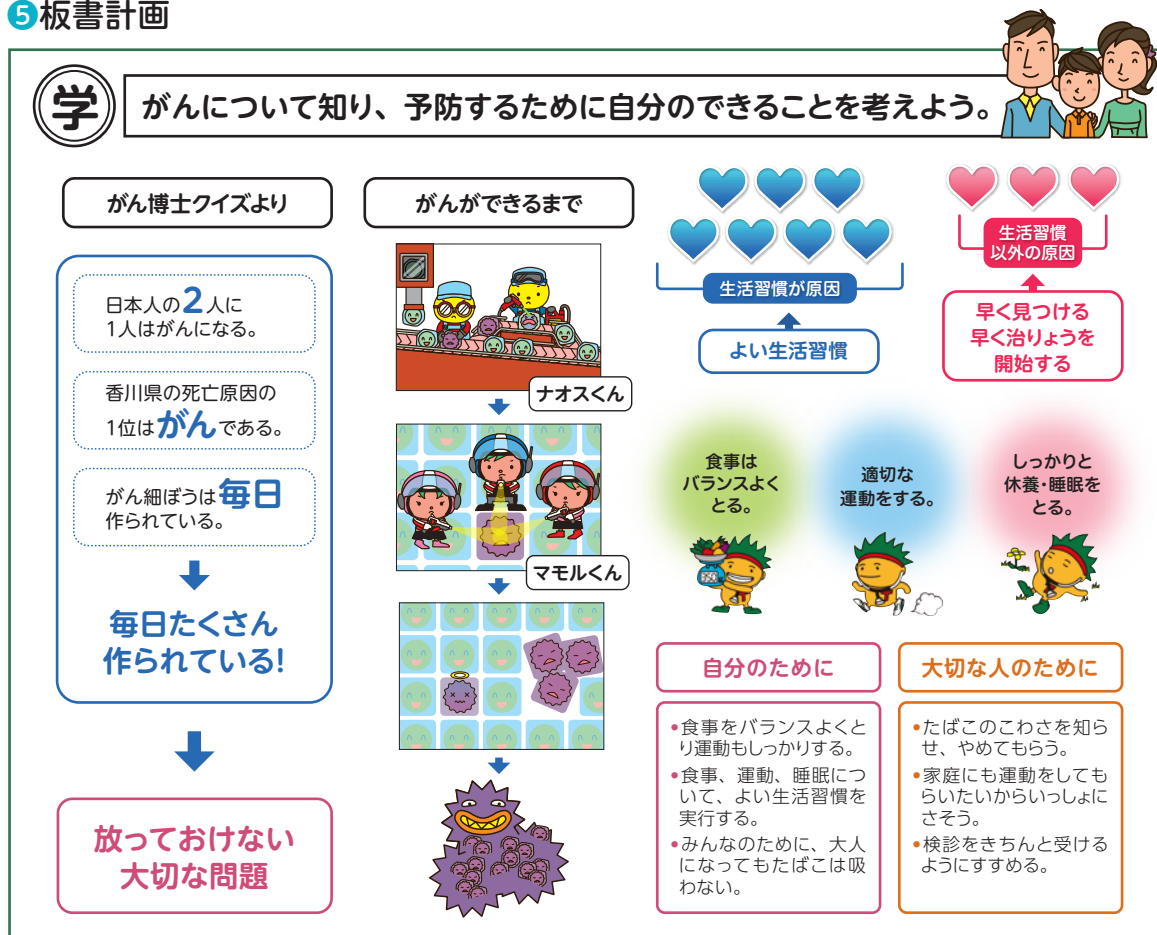
- 児童ががんについて興味をもてるような導入を工夫する。
- 児童ががんは怖い病気というイメージを持たないように配慮する。
- 児童ががんを予防するために、自分ができると考えるよう工夫をする。

④ 準備物

教師 スライドショー視聴機材一式、6年生用スライドショーデータ、ワークシート、事前事後アンケート、板書用掲示物

児童 筆記用具

⑤ 板書計画



6 本時の展開 (45分)

	学習活動	○発問助言等 ■予想される児童の反応	教師の支援活動
🕒 導入 3分 / 45分	1 禁煙のポスターから、知っていることや考えたことを発表し合う。	○なぜ学校の敷地内では禁煙なのでしょう。 学校にもポスターがあるかなあ。	●禁煙のポスターを掲示し、禁煙が呼びかけられる理由について考えるきっかけとする。
🕒 展開 27分 / 45分	2 「がんのひみつ」のスライドを見る。 ① ワークシート1にがん博士の出す○×クイズの答えを記入しながら学ぶ。 Q 日本人の5人に1人はがんになる。 Q 香川県の死亡原因の1位はがんである。 Q がん細胞は毎日作られている。 Q 体の中で作られるがん細胞はどのくらいか。	○がんについてスライドを見て学びましょう。 がん博士になろう! がんのひみつ A <input checked="" type="checkbox"/> 日本人の2人に1人はがんになる。 A <input checked="" type="checkbox"/> 死亡原因の1位はがんであり、その人数は増えている。 A <input checked="" type="checkbox"/> 毎日作られている。 A <input checked="" type="checkbox"/> たくさん 毎日たくさんのがん細胞が作られる。 ○クイズの答えを黒板をみて振り返ってみましょう。 ○このようながんを放っておいていいのでしょうか。 放っておけない大切な問題。がんについて正しく知り、自分にできることを考えないといけない。	●自分にとって大切な人を心に思いながら、学習するよう助言する。 ●香川県版6年生がん教育教材スライドを上映し、説明を加えながら進める。 ●保健学習の「喫煙と健康」の関連を図るようにする。 ●スライドの中から、掲示用パネルを用意しておき、振り返りがしやすいように順次掲示する。 ●ワークシートは、スライドを進める中で、効果的に記入時間を取るようにする。 ●がんについて知り、自分や家族の生活を見直すことを押さえる。
がんについて知り、予防するために自分のできることを考えよう。			
	2 スライドの説明を聞いた後にワークシート2「がんができるまで」を記入し、確認をする。	○がんのできるまでを詳しく見ていきましょう。 ●細胞の設計ミスで、がん細胞ができる。修理できずに生き残ったがん細胞が、増えてかたまり、がんになる。	●スライドの登場人物の役割を確認する。



次のページに続く

	学習活動	○発問助言等 ■予想される児童の反応	教師の支援活動
	<p>③ スライドの説明を聞いた後にワークシート3「がんの原因10のうち」を記入し、確認をする。</p> <p>④ スライドを見ながら、よい生活習慣の具体的な内容を確認し、ワークシート4「がんを予防するために」に記入する。</p> <p>3つの生活習慣</p> <ul style="list-style-type: none"> • 食事はバランスよくとる。 • 適切な運動をする。 • しっかりと休養・睡眠をとる。 <p>⑤ スライドの説明を聞いた後に、大切なこと2つをワークシート5「がんから命を守るには」に書き写す。</p> <p>2つの大切なこと</p> <ul style="list-style-type: none"> • 早く見つける。 • 早く治す。 	<p>○がんの原因を10あるとして見てみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> • がんの原因10のうち、たばこの影響が3、食事や運動などが4、生活習慣以外の影響は3。 <p>生活習慣以外の原因が10のうち3もあるんだ。</p> <p>○がんを予防するために、できること考えてみましょう。</p> <p>がん予防には3つの生活習慣が大事。</p> <p>○それ以外に、たばこを吸うことやお酒の飲み過ぎも気を付けることが大事です。</p> <p>がんの原因から予防する方法を考えることが大事なんだ。</p> <p>○がんから命を守るために、大切なことが2つあります。</p> <p>がんを小さいうちに検診で見つけ、早く治療を開始することが大事。</p> <p>検診を受けているのは3人に1人と少ない。</p> <p>がんは早く見つけることが大切なんだ。将来、がん検診を受けたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 生活習慣以外の原因に感染が多くを占め、その他遺伝や放射線、科学物質などがある。がんそのものが、インフルエンザのように人から人に移るものではないことや、遺伝の全体に占める割合は、僅かであることを確認しておく。 • 学習した原因から、がんを予防するために自分たちができることを考えるよう促す。 • 前々のスライドから、生活習慣以外の原因があることから、よい生活をしていても防げないがんがあることを確認する。 • がんになっても命を落とさない方法があることに気付かせる。
<p>🕒 まとめ 15分 ／ 45分</p>	<p>③ 大切な人ががんで命を落とさないために、何ができるかを考える。ワークシート6「考えてみよう」に記入する。</p> <p>① 1人で ② グループで ③ 全体で</p>	<p>○自分には何ができるのかを考え、話し合いましょう。</p> <p>自分のために 板書</p> <ul style="list-style-type: none"> • 食事をバランスよくとり運動もしっかりする。 • 大人になってもたばこは吸わない。 	<ul style="list-style-type: none"> • 副流煙の影響で肺がんになったと思われる体験者の話にも触れる。 • 既習を生かして、自分にできることを考えるよう促す。

4 大切な人にメッセージを考え、ワークシート7に記入する。

大切な人のために 板書

- たばこの怖さを知らせ、止めてもらう。
 - たばこを吸っていない人も副流煙から影響を受けるので、検診に行ってもらいたい。
 - 家族みんなで食事や運動に気をつけていきたい。
- 「自分のために」「大切な人のために」、この2つの視点で考えられました。自分も周りの人も大切にできる事は素晴らしいことです。
- 大切な人にメッセージを送りましょう。
- たばこを止めてほしい。
 - 検診を受けてほしい。
 - 家族みんなでよりよい生活習慣を実践していこう。
- 心をこめて書いたメッセージを大切な人にぜひ伝えてくださいね。これからも、自分のために、大切な人のために行動していきましょう。

- 今日学んだことを、自分の言葉で伝えるよう助言する。

評価

- ・ がんの死亡が増えていることやがんの原因を知り、がんを予防するためによい生活習慣が大切であることが分かったか。
- ・ 大切な人ががんで命を落とさないために、よい生活習慣以外に検診を勧めるなど、自分ができていることを考えることができたか。

3 中学校3年生 指導例【学級活動】

中学校 がん教育 学級活動学習指導案

1 本時の学習指導

① 題材名「科学的ながんの知識 がんちゃんと学ぼう」

② 本時の目標

「がんに対する正しい知識を理解し、
これからの自分の生活行動について考えよう。」

- がんの現状や原因を知り、がんなどの生活習慣病は、予防できる病気であることを理解する。
- 生活習慣を振り返り、自分や家族の課題に気付き、がんを防ぐ方法を考えることができる。

③ 本時の指導にあたって

- 生徒ががんについて学ぶ必要性を感じるような導入を工夫する。
- 生徒がゲストティーチャーの指導に興味を持てるよう誘導する。
- 生徒がグループでの考えや自分の意見を発表しやすいようにグループ編成を工夫する。

④ 準備物

教師 DVD及びスライドショー視聴機材一式、DVD「がんちゃんの冒険(作成:日本対がん協会)」、
中学生用スライドショーデータ、ワークシート、事前事後アンケート

ゲストティーチャー 板書用掲示物

生徒 筆記用具

⑤ 板書計画

がんに対する正しい知識を理解し、
これからの生活行動について考えよう。

香川県の死亡原因
全死亡数の26.7%が
がんで死亡
(出典:厚生労働省「平成26年 人口動態統計」)

PP用スクリーン

病気の起こり方

- ① 生活行動
- ② 病原体
- ③ 体の抵抗力
- ④ 環境

がん細胞ががんになるまで

1 異常な細胞

遺伝子の変化

がん細胞ががんになるまで

2 潜在がん

異常な細胞が
がん細胞となり
ふえて周りに広がる

がん細胞ががんになるまで

3 早期がん

がん細胞がかたまりとなり
周囲に広がったり
移動しやすくなる

がん細胞ががんになるまで

4 進行がん

さらに遠くの
組織・臓器に広がる

6 本時の学習指導過程

	学習内容・活動	予想される生徒の反応	教師の支援 (T1:担任/T2:保健師)	T1(担任)	T2(保健師)
導入 10分 50分	<p>1 本時の学習内容について確認する。</p> <p>2 がん〇×クイズに挑戦する。</p> <div data-bbox="326 700 803 1039" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>がん〇×クイズ</p> <p>1 日本人の4人に1人はがんになる……… ×</p> <p>2 がん細胞は毎日作られている …………… ○</p> <p>3 肉食ばかりだと、がんになりやすい …… ○</p> <p>4 お酒を飲みすぎると、がんになりやすい …… ○</p> <p>5 たばこががんは関係ない …………… ×</p> </div> <p>3 DVD がんちゃんの冒険を視聴し、がんと生活習慣の関連を知る。 (DVD1~8/8分2秒)</p> <div data-bbox="326 1319 803 1483">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> がんについて知らないことがたくさんある。 <p>クイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本人の2人に1人はがんになるんだ。 がん細胞は毎日作られているんだ。 肉食ばかりではいけないんだ。 お酒も飲みすぎではいけないな。 たばこががんは関係が深いんだ。 がんの原因は生活習慣にも関係があるんだ。 	<p>T1 将来的に、がんの正しい知識を深めることが重要であり、自分のこととして考えるよう促す。</p> <p>T1 がんに関する内容を扱うに当たり、配慮の必要な生徒は予めつかんでおく。</p> <p>T1 ワークシートのがん〇×クイズについて自分の考えで回答させる。</p> <p>T1 DVDにクイズの答えがあるので確認し、自分や家族の生活を振り返るよう促す。</p> <p>T1 学習課題を提示する。</p>	<p>3年生になると保健体育で生活習慣病の学習をします。今日は、生活習慣病の1つであるがんについて学習します。がんは自分には関係ないと思いませんか。授業を聞いて本当に自分には関係ないかどうか考えてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 家族や親戚の方でがんと闘っている場合があります。授業は真剣に取り組みましょう。 ワークシートの1枚目に〇×クイズがあります。各自挑戦してみましょう。 <p>•DVDにはクイズの答えが隠されています。答えを確認しながら観ましょう。ワークシートには主人公のオッジさんの生活の様子を最低3つ以上書いてみましょう。</p> <p>•オッジさんの生活の様子を書き出すことができましたか。クイズの答えあわせをします。間違えた場合は赤字で正解を書きましょう。クイズ1は×、クイズ2は○、クイズ3は○、クイズ4は○、クイズ5は×でした。</p> <p>•今日の学習目標は、がんに対する正しい知識を理解し、これからの自分の生活行動について考えてみようです。</p>	
	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">がんに対する正しい知識を理解し、これからの自分の生活行動について考えよう。</p>		<p>T1 ゲストティーチャーの紹介をする。</p>	<p>•今日は、がんのことを専門的に教えていただくゲストティーチャーをお招きしています。保健師の〇〇さんです。ここからは〇〇さんのお話をよく聞いていきましょう。</p>	



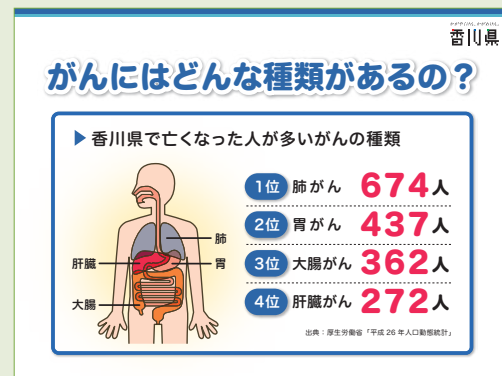
次のページに続く

学習内容・活動

4 がんのことをもっと詳しく知るためにスライドによる説明を聞く。



- がんにはどんな種類があり、どのがんが多いのかを知る。



予想される生徒の反応

- 香川県で亡くなる人が多いがんは肺がんなんだ。

教師の支援
(T1:担任/T2:保健師)

T1からT2へ。

T2 香川県では、約4人に1人ががんで亡くなり、多くの人に注意の必要な病気であることを確認させる。

板書

香川県の死亡原因約4人に1人ががんで亡くなっている

T2 知っているがんの種類を聞き、予測させる。

T1 (担任)

T2 (保健師)

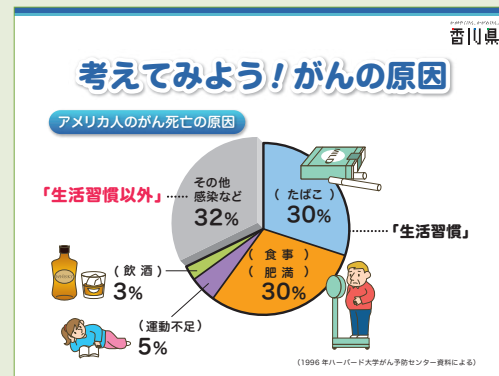
- こんにちは、保健師の〇〇です。(所属など自己紹介)
- がんちゃんの冒険はどうでしたか。DVDでは日本人の2人に1人ががんにかかる可能性がある。また、がんは、欧米では「減っている」のに、日本は「増えている」ことを学習しましたね。皆さんが授業前に書いたアンケートを見せてもらいましたが、「がんは治らない」と思っている人が多かったです。本当にそうでしょうか。香川県で増えている大腸がんを例にとってみると、早期で見つかり治療した場合、90%以上の人が治るという結果が出ています。早期に発見されたがんは、ほとんどが治癒するようになりました。
- 今日は、2人に1人がかかるといわれている病気「がん」、「がん」とはどういう病気なのか、自分には関係ないのか、考えながら一緒に学習していきましょう。
- 皆さんは、保健師という職業があることを知っていますか。保健師は健康な人が病気にならないような予防活動をする職種です。予防接種や今日のような健康教育もそのひとつです。
- 今日の授業はがんのことについて学習します。家族の人や親戚の人のがんの体験から、授業を聞いて、辛くなるかもしれません。そんな時は、遠慮せずに、先生に伝えてください。決して特別なことではありません。
- 今日は、スライドとワークシートを使ってがんについて一緒に学習していきましょう。ワークシートを開いて下さい。がんはたくさん種類があります。どんながんの種類を知っていますか。
- いろんながんがありますが、香川県では、1年間に亡くなる人のうち、約4人に1人ががんで亡くなっています。
- では、香川県で亡くなる人が多いがんの種類を学習しましょう。ワークシートの表にあてはまるがんの種類を少し考えてみましょう。
- 答えは、1位肺がん、2位胃がん、3位大腸がん、4位肝臓がんです。前のスライドを参考に正解をワークシートに書きましょう。



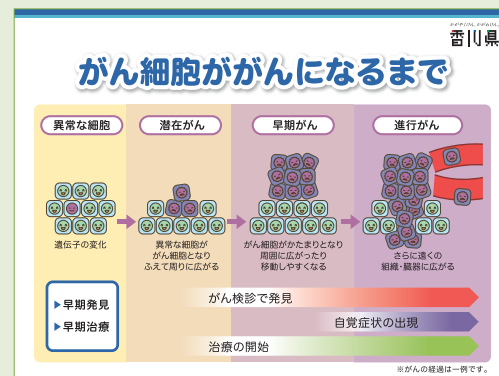
次のページに続く

学習内容・活動

- がんの原因の内容を知る。



- がんの進行経過から発見するタイミングを知る。



予想される生徒の反応

- その他の原因ってなんだろう。
- 生活習慣だけではがんは防げないんだ。
- がんは、がん細胞が細胞分裂を繰り返して大きくなったものなんだ。

教師の支援
(T1:担任/T2:保健師)

- T2 がんの原因に興味を持たせる。
- T2 小学校で学習した病気の起こり方について確認。

板書

病気の起こり方

- ①生活行動
- ②病原体
- ③体の抵抗力
- ④環境

- T2 グループの答えを1名発表させ、答えをワークシートに記入を促す。
- T2 その他の原因を考えるようにさせる。

- T2 がんの進行過程を説明した後に検診と自覚症状の発見時期を予測させる。

T1 (担任)

T2 (保健師)

スライド次へ

- では次に、がんの原因について学習しましょう。
- 小学校の保健では病気の起こり方を学習しました。がんちゃん冒険にもがんの原因について触れていました。スライドの円グラフはアメリカで調査されたものです。今日は、このグラフで学習します。
- 発問 ここで、グラフの括弧の答えを班で考えてみましょう。時間は2分間です。1名発表して下さい。
- スライドに注目しましょう。(正解をスライドで示す)
- 答えの「たばこ」「食事」「肥満」「運動不足」「飲酒」は、分類すると「生活習慣」ですね。これは、病気の起こり方にあてはめると、①生活行動ですね。
- では、残りその他の感染など32%に注目しましょう。これは、感染や環境要因、ごくわずかですが、遺伝などです。遺伝はがん全体ではほんの一部と言われています。これらを分類すると「生活習慣以外」です。病気の起こり方にあてはめると②病原体③体の抵抗力④環境ですね。
- その他のうち、日本人は、感染によるものが多いと言われており、子宮頸がんや肝臓がん・胃がんがあてはまります。
- 発問 原因の分類から考えてみましょう。がんはよい生活習慣だけで予防できるのでしょうか。答えはいいえです。32%はその他の原因があるし、がん細胞は毎日作られるということも学習したようにがんは誰もがかかる可能性があるということです。それは、あまり知られていない、とても重要なことです。

スライド次へ

- 次に、がん細胞ががんになっていく過程を学習しましょう。
- 正常細胞の核には遺伝子があります。その遺伝子の小さな傷が何度も繰り返されてがん細胞ができます。
- 通常は、体に備わった免疫細胞ができてしまったがん細胞を退治します。しかし、中には免疫細胞の監視をくぐりぬけて生き残るがん細胞があるんですね。
- 生き残ってしまったがん細胞は、細胞分裂を繰り返し、大きくなっていきます。



学習内容・活動

- がん検診は対象となる年齢があることを知る。

香川県

市町で受けられるがん検診

①種類	②対象となる人	③受診間隔
肺がん検診	40歳以上の男女	1年に1回受診
大腸がん検診	40歳以上の男女	1年に1回受診
胃がん検診	原則50歳以上の男女	原則2年に1回受診
乳がん検診	40歳以上の女性	2年に1回受診
子宮頸がん検診	20歳以上の女性	2年に1回受診

予想される生徒の反応

- 熱や鼻水、咳などによって風邪かなと思うようになるな。
- がんは自覚症状がないときに検診で発見することが大事なんだ。
- 将来、がん検診を受けたいなあ。
- 年齢によってがん検診を受けることができるんだ。

教師の支援
(T1:担任/T2:保健師)

T2 生徒の検診を例にがん検診を身近に感じるようにする。

T1 (担任)

T2 (保健師)

スライド次へ

- さらに、細胞分裂を繰り返し大きくなり、遠くの臓器に広がっていきます。
- 発問** 虫歯かなと感じるのはどんなときですか。
- 歯が痛い、冷たい飲み物がしみる、など悪いところの変化を感じて病気かなと感じますね。それは自覚症状ですね。がんも自覚症状が出現する時期があります。
- でも、がんの自覚症状には特徴があります。がんは、自分の細胞の突然変異の繰り返しでできたものですから、基本的に自分の細胞です。だから、かなり大きくならないと自覚症状がでないという特徴があります。
- では、体の中にあるがんをどのように知ればいいでしょうか。それは、「がん検診」です。
- 検診で発見できる時期と、自覚症状で発見できる時期の違いをスライドで確認しましょう。スライドを参考にワークシートを書きましょう。
- がんは早く治療を開始することが重要です。なぜかと言うと、がんは小さければ小さいほど治る確率が高くなるからです。早期がんの間に見つけて治療を開始することが大事です。「検診はがんが見つかるのでこわい」と聞きますが、皆さんはどう考えますか。もう学習したので分かったと思います。がんを早く見つけることは治療にとって最も大事なことになります。

スライド次へ

- では、がん検診について学習しましょう。皆さんも学校で歯科検診や、眼科検診など受けていますね。それは、学生に多い虫歯や近視などの病気を早く見つけるものです。
- 大人も、年齢に応じて多くの人がかかる可能性のあるがんの検診が準備されています。
- がんの発生は何歳ごろから増えると思いますか。がんは、40歳を過ぎると増えはじめます。女性は、もっと早く30代前半から増える傾向にあります。乳がんや子宮頸がんのため、男性より早く増えはじめます。そのため、ほとんどのがん検診は40歳から受けることができ、子宮頸がん検診は20歳から受けることができます。



次のページに続く

学習内容・活動

- がんの治療法にはいろいろな方法があることを知る。



予想される生徒の反応

- いろいろ考えて治療方法を選ぶんだ。

教師の支援
(T1:担任/T2:保健師)

T2 発見から治療につながる大切であることを意識させる。

T1 (担任)

T2 (保健師)

- 前のスライドで、がん検診でがんを早期に見つけることを学習しました。検診で早期がんを発見するには、1年ないし2年ごとにきちんと受診することが大切です。
- 子宮頸がんの予防ワクチンを受けるとその予防効果が高まりますが、がんを予防する効果は60～70%といわれ、ワクチンを接種していても必ず検診を受ける必要があります。

スライド次へ

- 次に、治療についてお話します。
- 検診で見つかったがんはしっかり治療をしていくことが大切です。どのような治療があるか学習しましょう。
- 手術は、がんそのものを取り除く方法です。
- 化学療法は、飲み薬や注射など薬によって、がんを小さくする効果があります。
- 放射線治療は、がんに放射線をあて、がん細胞の分裂を止める効果があります。
- さらに、心と体のしんどさをやわらげる、緩和ケアという治療を行い、医療スタッフがチームとなって治療をサポートします。
- ここまで、がんの原因やがんの成長過程などについて学習しました。
- がんのことを学習して、がんで命を落とさないために自分が今できること、これからできることがわかりましたか。
- ところで、〇〇先生はがん検診の対象年齢ですが、今年の検診の予定はいかがですか。
- さすがですね、先生も体が大切です。検診を定期的に受診して下さい。先生ができる大切なことですね。
- つぎは、〇〇先生にバトンタッチします。よろしくお願いします。



次のページに続く

	学習内容・活動	予想される生徒の反応	教師の支援 (T1:担任/T2:保健師)	T1(担任)	T2(保健師)
<p>まとめ 15分 50分</p>	<p>5 自分へのメッセージを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> DVDの主人公と同じ年齢になる30年後の自分自身にメッセージを書く。  <p>学習についてまとめる。</p> <p>6 授業の感想、分かったこと、家族に伝えたいことを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> がんにならないために何ができるだろうか。 自分や家族をがんから守るために大切なことを伝えよう。 	<p>T2からT1へ。</p> <p>T1 これまでの説明について理解の確認をする。</p> <p>T1 30年後の自分をイメージできるように促す。</p> <p>T2 今までの学習の振り返りから考えを促すヒントを提示する。</p> <p>T1 発表を促し考えを共有する。</p> <p>T1 発表も参考にまとめを促す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保健師の説明はどうでしたか。質問したいことがある場合は、ワークシートの最後に授業の感想を記入しましょう。 <p>スライド次へ</p> <ul style="list-style-type: none"> がんは怖い病気と思っていた人が多いと思います。がんにかかると死んでしまうという恐怖心がありますね。 <p>今日の授業を通じて、がんを予防するために、できることがたくさん発見できたと思います。そこで、30年後の自分に対してメッセージを送りましょう。</p> <p>30年後の自分は44歳ですね。DVDのオジさんと同じ年齢になります。時間は〇分まで、発表してもらいます。</p> <p>がんは誰でもかかる可能性があることが分かりました。でも、無闇に怖がるのではなく、できることが沢山あります。家族みんなで、できることを話し合い取組んでみましょう。</p>	

評価

- がんの原因やがんの成長と発見の関係からがんは治る病気であることが分かったか。
- がんを予防するために、これからの自分の生活行動について気をつけるべきことが分かったか。
- 大切な人に対して、がんを予防するために気をつけてほしいことを伝えることができたか。

4 高等学校2年生 指導例【保健体育科 科目保健】

保健体育科学習指導案

1 単元名

地域の保健・医療機関の活用【保健サービスの活用】

2 単元の目標

- ① 地域の保健・医療機関の活用について、話し合いや意見交換をするなど、課題の解決に向けて意欲的に取り組むことができるようにする。
- ② 地域の保健・医療機関の活用について学習したことを、個人及び社会生活にあてはめたり分析したり、計画を立てたりできるようにする。また、筋道を立てて説明できるようにする。
- ③ 生涯を通じて健康の保持増進をするには、地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であることを理解できるようにする。

3 評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
単元の評価規準	●地域の保健・医療機関の活用について、話し合いや意見交換をするなど、課題の解決に向けて意欲的に取り組もうとしている。	●地域の保健・医療機関の活用について学習したことを、個人及び社会生活にあてはめたり分析したり、計画を立てたりしている。また、筋道を立てて説明している。	●生涯を通じて健康の保持増進をするには、地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であることについて、理解したことを書き出したり発言したりしている。
学習活動に即した評価規準	①地域の保健・医療機関の活用について、ワークシートに記入したり仲間と意見交換をしたりしている。 (十分満足：進んで)	①学習で学んだ地域の保健・医療機関の活用について、個人及び社会生活にあてはめたり分析したりして、計画を立てている。 (十分満足：提案している)	①生涯を通じて健康の保持増進をするには、地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であることについて、理解したことを書き出したり発言したりしている。 (十分満足：具体的に)
	②地域の保健・医療機関の活用について、課題の解決に向けて仲間と意見交換をしている。 (十分満足：進んで)	②市町が保健サービスで実施している「がん検診」の活用について、日常生活にあてはめながら行動を選択している。 (十分満足：筋道を立てて説明している)	②市町が保健サービスで実施している、「がん検診」の種類や必要性を書き出している。 (十分満足：具体的に)

4 指導と評価計画（全3時間）

時	学習内容・活動	評価	備考
1	<p>保健サービスの活用</p> <p>学習内容 保健サービスを身近に感じ、積極的に活用することが生涯の健康にとって重要であることを理解する。</p> <p>学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 保健行政や保健制度について理解を深め、キーワードをワークシートに記入する。 自分が住んでいる地域の広報に記載されている保健サービスの内容について、グループで意見交換をする。 保健サービスについて理解を深め、自分や家族が利用できるように計画を立てながら、ワークシートに記入する。 	<p>関心・意欲・態度 ①</p> <p>思考・判断 ①</p>	<p>観察</p> <p>ワークシート</p>
2	<p>がん検診の大切さを考える（本時）</p> <p>学習内容 市町が実施している「がん検診」を例に挙げ、保健サービスの意義を理解する。</p> <p>学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> がん細胞が生まれる仕組みや進行がんになるまでを理解し、キーワードをワークシートに記入する。 市町が実施している、がん検診の種類を考え、ワークシートに記入して発表する。 DVDの体験談を視聴し、がんの早期発見の重要性を理解する。 自分や家族のがん予防対策をワークシートにまとめ、グループで意見交換をし、発表する。 	<p>知識・理解 ②</p> <p>思考・判断 ②</p>	<p>ワークシート</p> <p>ワークシート</p>
3	<p>医療サービスの活用</p> <p>学習内容 医療機関の選択や、適切な医療サービスの活用について理解する。</p> <p>学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 医療機関の役割について理解し、キーワードをワークシートに記入する。 医療機関の選び方についてグループで意見交換をし、発表する。 適切な医療サービスの受け方について、自分がとるべき行動をワークシートにまとめる。 	<p>知識・理解 ①</p> <p>関心・意欲・態度 ②</p>	<p>ワークシート</p> <p>観察</p>

5 本時の学習

① **目標** 市町が実施している「がん検診」を例に挙げて、保健サービスの意義や保健サービスを適切に利用することの重要性を理解する。

② **使用教材** DVD、ワークシート、資料

③ **展開** (2/3)

	学習内容	学習活動	指導と評価
導入 5分	▶本時の学習内容を確認する		○市町役場が実施している、保健サービスの一つである「がん検診」について学習することを説明する。
	発問1 がんの関連数値で、2人に1人、3人に1人、4人に1人は何を示すのだろうか。		
展開 35分	▶全国のがん罹患率と死亡率・香川県のがん検診受診率とがんによる死亡者数を知る ▶DVDのデータを視聴しながら考える		○DVDを使ってデータを示し、補足説明をする。 補足説明 •がんは身近な病気である。 •がんで死亡する確率が男女で差が出るのは、生活習慣に着目すると、喫煙や飲酒が影響していると考えられる。
	▶がん細胞が生まれるしくみを理解する ▶キーワードをワークシートに記入する		○DVDを視聴させ、ワークシートにキーワードを記入させた後、補足説明をする。 補足説明 •全ての細胞に「がん原遺伝子」が存在するため、誰もが、がんになる可能性を持っている。
	▶がん細胞が進行がんになるまでを理解する ▶キーワードをワークシートに記入する		○DVDを視聴させ、ワークシートにキーワードを記入させた後、補足説明をする。 補足説明 •がんの中には、1cm程の大きさになるのに15年から20年以上かかるものもあるが、発見できる大きさになってからの進行が早く、1cmから2cmになるのに、わずか1年弱のものもある。 •がん細胞は血液やリンパ液を介して、他の組織や臓器に広がる。
	発問2 保健サービスで実施されている、がん検診の種類と対象年齢について考えてみよう。		
	▶市町が実施しているがん検診の種類・対象年齢・5年生存率について理解する		○ワークシートを使い、がん検診の対象者から、がん検診の種類を予想して記入させた後、発表させる。 ○DVDを視聴させ、がん検診の種類を確認させながら補足説明をし、ワークシートに記入させる。



次のページに続く

学習内容

- ▶がん検診の種類を考えてワークシートに記入した後発表する
- ▶がん検診の補足事項をワークシートに記入する

学習活動

評価

補足説明

- 市町で実施しているがん検診の種類は、死亡率1位の肺がん、2位の胃がん、3位の大腸がん、乳がん・子宮がんである。
- がんは40歳以降に増加するため、40歳以上が対象となる。
- 子宮がん検診だけは「二十歳の検診」とも呼ばれ、20歳から対象となる検診である。
- 大腸がん検診は2日分の便を取る簡単な便潜血反応検査である。
- 5年生存率とは、がんを治療してから5年後に生きている人の割合である。
- 現在、検診があるがんについては、早期に発見された場合、5年生存率が8割以上と言われている。

評価 知識・理解 ②

市町が保健サービスで実施している、「がん検診」の種類や必要性を書き出している。
(十分満足：具体的に)

体験談 「がんって、私や私の家族には関係ないと思っていました。」を視聴しよう。(15分)

- ▶がんの早期発見の重要性を理解する
- ▶DVDを視聴した後ワークシートに「がんの主な治療方法」を記入する

- DVDを視聴させた後、がんの主な治療方法を思い出させながらワークシートに記入させ、補足説明をする。

補足説明

- 化学療法や放射線療法は、通院しながらの治療も可能である。
- 緩和ケアは、がんと診断された初期段階から治療に組み込まれる。
- 早期であれば治療の選択の幅も広がり、「腹腔鏡・胸腔鏡手術」のような傷跡が小さく体の負担の少ない治療が受けられる。そのため、検診による早期発見が重要である。
- がんの相談窓口である「相談支援センター」を利用することによって、自分が得た情報を整理だけでなく、患者や家族の感情も整理することができる。
- 診断や治療には、医師や看護師をはじめ、細胞検査士や薬剤師などの多くの職種が関わっている。

- ▶自分や家族のがん予防対策を考える
- ▶自分や家族の「がん予防対策」を考えて、ワークシートに記入する
- ▶「がん予防対策」について、グループで意見交換をし、発表する

- 自分や家族の日常生活を振り返りながら考えさせ、ワークシートに記入させる。
- グループで意見交換をさせ、情報を共有した後、発表させる。
- ワークシートを回収する。

評価 思考・判断 ②

市町が保健サービスで実施している「がん検診」の活用方法について、日常生活にあてはめながら行動を選択している。
(十分満足：筋道を立てて説明している)

6 努力を要する生徒への手立て

	評価	手立て
知識・理解	市町が保健サービスで実施している「がん検診」の種類や必要性を書き出している。	ワークシートをもう一度見直したり、資料を確認したりして、学習内容を再度整理し、理解の程度に応じた補足説明をする。
思考・判断	市町が保健サービスで実施している「がん検診」の活用方法について、日常生活にあてはめながら行動を選択している。	必要に応じて学習を振り返らせたり、がん予防対策を一つか二つ例示したりして、個別に支援する。

1 小学校3年生紙芝居「ガンダーをやっつける!」 内容・指導の留意点

紙芝居のあらすじ

主人公の「どんちゃん」は、両親と妹の4人暮らしです。どんちゃんは、あまりよい生活習慣ではないようです。どんちゃんは、うどんやお肉が大好きですが、野菜が苦手で、夜遅くまで一人で遊んでいることがあります。

ある夜、おもちゃの怪獣で遊んでいたら、急に部屋が暗くなり、不思議な空間になりました。突然、がんの病気を起こすガンダーが現れました。ガンダーは、クイズに正解しなければ、やっつけると言います。ガンダーは、がん予防につながる生活習慣に関するクイズを2問と、がんについてのクイズを1問出しますが、どんちゃんはすべて不正解でした。ガンダーは正しい答えとがんのことを解説します。

3問目のクイズの時には、ソウキくんが登場しどんちゃんを助けようとします。ソウキくんは、香川県がん征圧イメージキャラクターです。ガンダーは、体の中では、毎日ミニガンダー（がん細胞）が作られており、仲間を増やして集まり大きなガンダー（がん）になることを教えます。

解説が終わるころ、ミニガンダーがたくさん集まり、どんちゃんを襲います。ソウキくんはミニガンダーと戦いますが、ミニガンダーが多いため苦戦します。そこに、野菜の国から4人の助っ人が現れ、その有志たちはそれぞれの野菜のもつパワーをソウキくんに送ります。野菜のパワーを吸収して強くなったソウキくんは次々とミニガンダーを退治し、ガンダーは消えていきます。

どんちゃんは助けてくれたソウキくんや野菜の国のみんなの活躍に感動し、これからはよい生活習慣を心がけようと決めます。そして、ソウキくんから、かっこいい発見メガネをプレゼントされます。その時、お母さんの声が聞こえてきます。

お母さんの声で目が覚めたどんちゃんは、とても不思議な気持ちになります。そして、発見メガネを見つけ、朝食を食べ始めます。しっかり野菜を食べることができたどんちゃんは、発見メガネをかけたお父さんを見ました。すると、お父さんの肩にミニガンダーが乗っているのが見え驚きます。お父さんは、「今日がん検診に行くから大丈夫だよ。」と言います。もう一度、発見メガネでお父さんを見ると、お父さんの反対側の肩にソウキくんが見えたので、どんちゃんは安心します。



指導上の留意点

紙芝居の登場人物(一部)の名前と役割を確認し、必要に応じて指導をします。



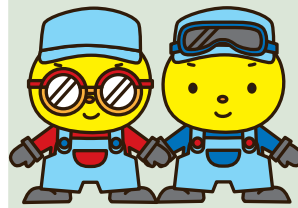
ガンダー

がんを模したもので、授業では「がん」と指導します。大きくなると体の栄養を奪います。



ミニガンダー

がん細胞を模したもので、授業では「がんのもと」と指導します。がんのもとがたくさん集まり、ガンダーになります。



ナオスくん

がんのもと(がん細胞)を正常なものに修理する役割をします。



(香川県がん征圧イメージキャラクター)

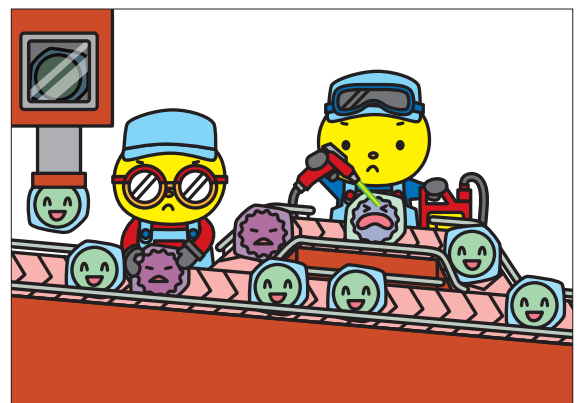
ソウキくん

紙芝居では、ミニガンダーと戦う役割(免疫細胞)をします。がんのもと(がん細胞)やがんを見つけるのが得意です。

紙芝居 11 ミニガンダーを治すナオスくんたち

がん細胞ができるしくみを知る内容です。体の中で、体のもと(細胞)を作る工場であることを説明します。体のもと(細胞)を作る工場とは、細胞分裂を表したものです。

がん細胞の発生は、細胞の核にあるがん原遺伝子が何らかの影響により活性化され、がん遺伝子に変異します。その変異が繰り返され、がん細胞になります。がん抑制遺伝子は、がん原遺伝子の変異をもとの状態にもどすしくみがあります。



体には従来、がん細胞になっていく遺伝子の変異を防ぐ働きがあり、その働きを正常に機能させることが大切です。

紙芝居 13 ガンダーとソウキくんたちの戦い

たくさんのミニガンダー（がんのもと）とソウキくんが戦う内容です。ソウキくんは、免疫細胞を表したものです。

免疫細胞（リンパ球）は自分の細胞かどうか認識し、自分の細胞ではないと判断すると殺します。免疫細胞は普通、がん細胞を異常な細胞と判断して殺します。しかし、がん細胞も元は自分の細胞が変化してでき、よく似ているため、時に自分の細胞と判断してしまい、殺さない場合があります。免疫細胞の監視をくぐりぬけて生き残ったがん細胞は分裂を繰り返し、がんの塊になっていきます。

指導のポイントは、体に備わっている、遺伝子の変異を戻す働きやがん細胞を退治する働きを維持することが必要で、そのためによい生活習慣の実践が大事であることを押さえます。紙芝居では、野菜の働きに注目した内容となっていますが、その他にもご飯や魚などよい食べ物の働きや、その他のよい生活習慣も考えられます。

しかし、がんの原因は生活習慣だけでなく、感染や環境などもあり、毎日がん細胞が生まれていることから、生活習慣だけで予防できるものではないことや、そのために早期発見、早期治療がとても重要であることを指導します。

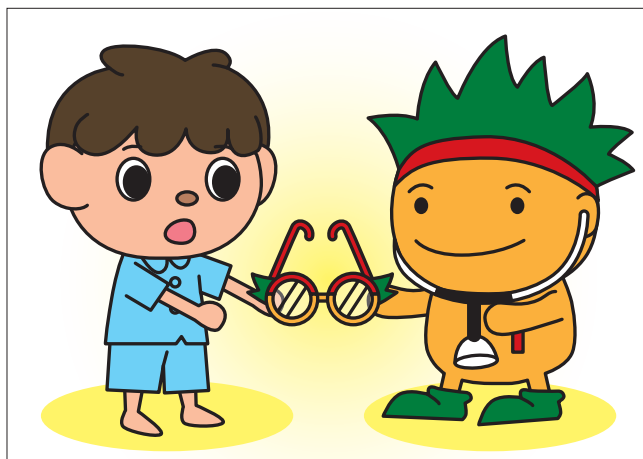


※がんの原因については、次ページ参考資料を参照

紙芝居 16 みんなとお別れ

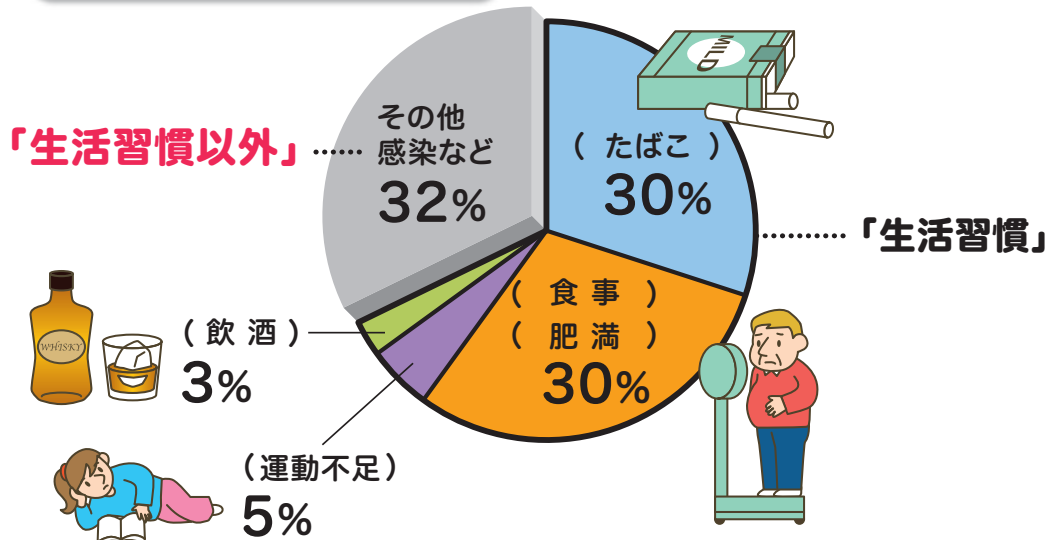
ソウキくんがミニガンダーを見つける発見メガネをどんちゃんにプレゼントします。

発見メガネは、ミニガンダーを見つけることができる道具で、がん検診をイメージしています。がんは早期発見、早期治療することで生存率が上がります。がん検診の重要性を指導します。



考えてみよう！がんの原因

アメリカ人のがん死亡の原因



（1996年ハーバード大学がん予防センター資料による）

▲ 中学3年生がん教育教材スライド

1996年にハーバード大学のがん予防センターから発表されたアメリカ人のがんの死亡原因のうち、生活習慣にかかわるものは、たばこ（30%）、食事・肥満（30%）、運動不足（5%）、飲酒（3%）で全体の68%になります。残りの32%は、感染や環境要因、遺伝などです。

生活習慣や環境は国によって違い、がんの原因の割合も国によって異なりますが、生活習慣の改善で多くのがんが予防できることはアメリカも日本も同様です。日本人も、たばこの影響はアメリカ人と同じくらいとされている一方、運動・食事・肥満の影響はアメリカ人より小さく、飲酒の影響は大きいことが最近の研究で分かっています。

生活習慣以外の原因に注目すると、アメリカ人と大きく異なる点は「感染」が大きな割合を占めることも分かってきました。

がん予防は、さまざまな条件に対してバランスを考えて、がんになる危険性をできるだけ押さえることが目標となります。さらに、がんは、進行した段階で初めて症状が出る場合が多く、がん検診によって見つけることが重要になります。

生活習慣病の一つとされている「がん」ですが、生活習慣だけが原因ではないということやがん細胞の発生機序を踏まえ、子どものうちからできること、将来できること、家族など大切な人に勧めたいことなどを考えることが大切です。

2 小学校3年生補助教材 (ワークシート・事前事後アンケート)

1 ワークシート



体の力をパワーアップする
ひみつをみつけよう!

1 ガンダークイズを思い出し、○・×でこたえましょう。

第一問



野さいを食べなくても、すきなうどんや肉をしっかり食べていけばけんこうでいられる。

こたえ

第二問



運動はきれいなら、しなくてもよい。

こたえ

第三問



けんこうな人の体の中でも、がん細ぼう(ミニガンダー)ができることがある。

こたえ

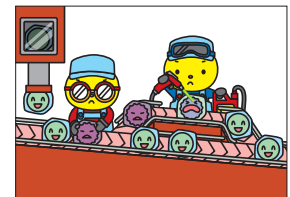
2 ガンダーは、どのようにして生まれたのかまとめています。下の□から、あてはまる言葉をえらんで()の中に入れて書きましょう。

① 「体のもと」をつくる工場では、毎日たくさんの新しい「体のもと」が生まれる。ときどき、ミニガンダー(がん細ぼう)も()。

② でも、ナオスくん(がん細ぼうになるのをおさえる遺伝子^{いでんし})が、ミニガンダーを()してくれる。

③ しかし、()ミニガンダーもある。

④ ガンダーは、体から()をとってしまう。



しゅうり ・ 生きのこる ・ 生まれる ・ たおれる ・ えいよう

③ ガンダーをやっつける方法を考えましょう。



ナオスくん



ソウキくん



④ お父さんのミニガンダーを見つけた道具は何でしょう。

早くみつけると
早くなおるよ。

発見めがね

⑤ 自分はこれからどんなことに気をつけたいか書きましょう。

自分の体の中のナオスくんやソウキくんをパワーアップさせるために、

⑥ お家の人から…

② 事前事後アンケート

体の力をパワーアップする ひみつをみつけよう!

事前

自分の生活をふりかえって、こたえましょう。
こたえは、すべて1つ○をつけましょう。

1. きゅう食をのこさず食べていますか。

- ア 食べている
イ ときどきのこす → ★をこたえよう
ウ 毎日のこす → ★をこたえよう

★のこしたことがあるものは何ですか?

2. 毎日何時間くらいねていますか?

() 時間

3. 1週間のうち何日くらい体を動かして遊んだり、 運動したりしていますか?

() 日

4. 「がん」について、聞いたことがありますか。

- ア ある イ ない

5. 4番で、「ある」とこたえた人は、どんなことを聞きましたか。

体の力をパワーアップする ひみつをみつけよう!

事後

がんの学習をふりかえて、こたえましょう。

1. あなたの体の中のナオスくんやソウキくんを強くするために、何が大切だと思いますか。
下から3つえらんで、記号を書きましょう

--	--	--

- | | |
|-------------------|-----------------|
| ア おやつをしっかり食べる。 | イ すきなものだけ食べる。 |
| ウ いろいろな食べ物を食べる。 | エ 早ね早おきをする。 |
| オ ねむたくなってからねる。 | カ すきなときにおきる。 |
| キ すきなだけテレビを見る。 | ク 家の中でゲームばかりする。 |
| ケ 外で遊んだり、運動したりする。 | |

2. ナオスくんたちを強くするために、あなたが1番がんばりたいことは何ですか。

3. きょう学んだことを誰だれに伝えたいですか。
いくつ○をつけてもかまいません。

- | | | |
|--------|---------|-----------------|
| ア お父さん | イ お母さん | ウ おじいちゃん・おばあちゃん |
| エ 友だち | オ 家ぞく全員 | カ その他の人 () |

4. きょうのじゅぎょうの感そうを書きましょう。

3 小学校6年生スライドショー 「がん博士になろう!がんのひみつ」 内容・指導の留意点

スライド 1 がんのひみつ がん博士クイズ①



スライドの内容

がんについて「がん征圧イメージキャラクターソウキくん」と一緒に学習することを動機付けるスライドです。

がん博士クイズ1

がんは2人に1人がかかる身近な病気であることを学習します。

指導上の留意点

家族にがんの治療中など配慮の必要な児童の様子を確認する。

がん博士クイズは、○×を主体的に考えさせるよう配慮する。

ナレーション

- みなさんは、「がん」に対して、どんなイメージをもっていますか?今からソウキくんと一緒にがんについて勉強していきましょう。
- では、さっそくがん博士クイズに挑戦してもらいましょう。
- がん博士クイズ第1問、日本人の5人に1人はがんになる。○か×か?
- プリントに答えを記入して、挙手をしてもらいます。
- 正解は、×です。
- 日本人の2人に1人はがんになります。だから、自分や家族はがんになるかも知れません。
- このクラスで考えれば、教室にいる半分の人が、がんになるかも知れないということですね。


スライド 2 香川県の死亡原因について がん博士クイズ②

香川県の死亡原因について

がん博士クイズ 2

香川県の死亡原因の1位はがんである。

死亡原因の1位はがんです。またその人数は増えています。



スライドの内容

がん博士クイズ 2

香川県の死亡原因の1位はがんであることを学習します。

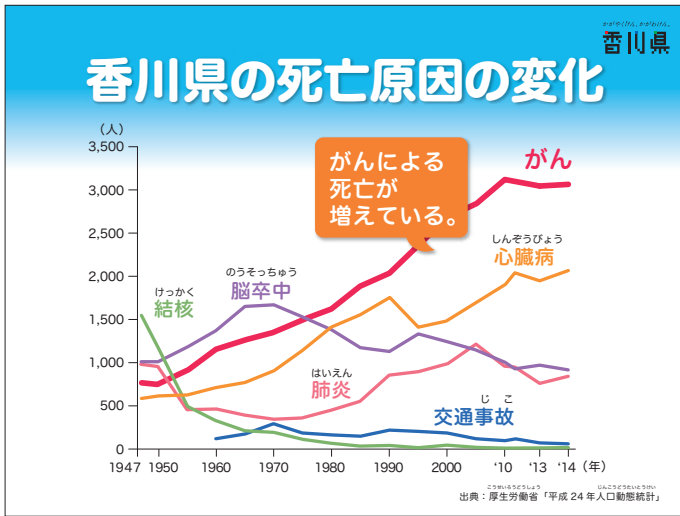
指導上の留意点

死亡の原因は様々な病気や事故などが考えられることを説明し、がんは1位かどうかを考えさせる。

ナレーション

- がん博士クイズ第2問、香川県の死亡原因の1位はがんである。○か×か？
- 死亡の原因はいろいろな病気や、残念なことですが交通事故もありますね。
- プリントに答えを記入して、挙手をしてもらいます。
- 正解は、○です。
- 次のスライドで、香川県の死亡原因の変化をみてみましょう。

スライド3 香川県の死亡原因の変化



スライドの内容

がん博士クイズ2の解説です。死亡原因の変化のグラフです。

指導上の留意点

がんが1977年から1位となり、その数は増えていることを確認する。

ナレーション

- クイズの答えを確認しましょう。
- グラフの上から、がん、心臓病、肺炎、脳卒中、交通事故、結核で、がんがトップです。
- よくみると、がんは1977年から脳卒中をぬいて、1位になっています。
- がんによる死亡は、このように増えているのがわかりますね。
- 2014年頃は、約3000人の方ががんで亡くなっています。

スライド4 香川県の死亡原因について がん博士クイズ③

香川県の死亡原因について

がん博士クイズ 3

がん細胞は、毎日作られている。

毎日作られています。

スライドの内容

がん博士クイズ3

健康な人の体でも、がん細胞は毎日作られていることを学習します。

指導上の留意点

がん細胞に関心を寄せるように説明する。

ナレーション

- では、3問目のがん博士クイズに挑戦してもらいましょう。
- がん博士クイズ第3問、がん細胞は、毎日作られている。○か×か？
- プリントに答えを記入して、挙手をしてもらいます。
- 正解は○です。がん細胞は毎日作られています。

スライド5 がん細胞について 難問クイズにチャレンジ!

香川県

がん細胞について

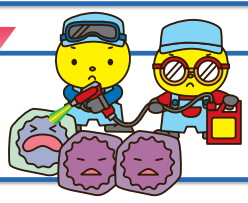
難問クイズにチャレンジ!

1日に体の中で作られるがん細胞の数はどのくらいでしょう。

① 1個 ② たくさん

↓

正解
② たくさん



スライドの内容

難問クイズ

多くのがん細胞が毎日生まれていることを学習します。
(最後のクイズです。)

指導上の留意点

毎日がん細胞が生まれているため、だれでもがんになる可能性があることを確認する。

体内でがん細胞が作られる数は、ひとつの研究結果であり、年齢などの要因により個体差がある。

ナレーション

- 続けて難問クイズです。
- 1日に体の中で作られるがん細胞の数はどのくらいでしょう。
- ①1個 ②たくさんの中から答えを選んで○をつけてください。
- ①の1個だと思える人は手を挙げてください。
- ②のたくさんだと思える人は手を挙げてください。
- (○番だと思える人が多いそうですね。等、クラスの様子を言う。)
- 正解は、②たくさんです。どのくらいだと思いますか?考えてみよう。
- あるお医者さんの研究では、1日5,000個くらい作られていると言われています。
- 人間の体は、どのくらいの数の細胞で作られていると思いますか?約60兆個の細胞で作られているですよ。
- その中の5000個、ということです。

スライド6 がんができるまで①



スライドの内容

これより4枚のスライドにより、がんができるまでの様子を学習します。

①体の中で新しい細胞がコピーのように毎日作られています。しかし、中にコピーのミスによって顔の違う細胞ができることがあります。体には、ミスコピーされた細胞を修理する機能があります。

ナオスクンとは、細胞自身のがんを抑える遺伝子の働きをします。

ナレーション

- がんができるまでを詳しく見ていきましょう。
- ここは、体の中で細胞を作っているところです。
- 人間の体の中では、毎日たくさんの新しい細胞が作られています。
- 普通は設計図通りに細胞が作られるのですが、時々設計図と違う細胞が作られることがあります。しかし、そのミスコピーされた細胞は、ナオスクンたちが修理してくれます。
- ナオスクンは、細胞の中にある「がんを抑える遺伝子」です。

参考

体は約60兆個細胞からなっており、そのうち毎日1%の細胞が死ぬため、細胞分裂により減った細胞を補う必要があります。

細胞分裂は、遺伝子をコピーしてできます。遺伝子とは、生物の形や性質を決めるものになります。細胞分裂の際に、遺伝子のコピーミスを起こすことがあり、遺伝子の突然変異を繰り返すことでがん細胞が生まれます。

ミスコピーを起こした全部ががん細胞になるのではなく、細胞に備わっているがん抑制遺伝子によって修復の仕組みがあります。

ミスコピーを起こしやすくなる要素と、修復する仕組みを阻害する要素があり、そのうち明らかなものが、喫煙をはじめとしたいくつかの生活習慣なのです。

スライド 7 がんができるまで②

がんができるまで② 香川県



それでもできてしまったがん細胞は、マモルくんたちが退治します。

スライドの内容

②修理できなかったがん細胞は、体にある免疫によって攻撃されます。
マモルくんは、がん細胞を見つけて退治（死滅）する免疫機能です。

ナレーション

- それでもできてしまったがん細胞は、マモルくんたちが退治します。
- マモルくんは、がん細胞を見つけて攻撃し退治する免疫というしくみです。

参考

健康な人でも②のようながん細胞は1日およそ5000個できているといわれています。

スライド 8 がんができるまで③



スライドの内容

③死滅せずに生き残るがん細胞もあります。

ナレーション

- しかし、マモルくんたちが退治できないがん細胞もあります。

参考

がん細胞を退治しているのは免疫細胞（リンパ球）です。免疫細胞は、まず自分の細胞かどうかを見極めます。自分の細胞でないと判断すると攻撃します。

がん細胞はもともと正常細胞から発生するので、その違いがごくわずかであるため「異物」と認識しにくい特徴があるといわれています。

よくない生活習慣の積み重ねによって、がん細胞が生まれる数が、それを排除する能力を上回りやすくなります。加齢による影響が強いということになります。

スライド 9 がんができるまで④



スライドの内容

④生き残ったがん細胞は、長い時間をかけて、細胞分裂により増えていきます。一つの細胞が増えて塊になると、がんになります。

ナレーション

- そして、それでも生き残ったがん細胞は、体の栄養を奪いながら、長い時間をかけて増えていきます。
- がん細胞が増えてかたまりになると、もっと速いスピードで大きくなり、がんになるのです。

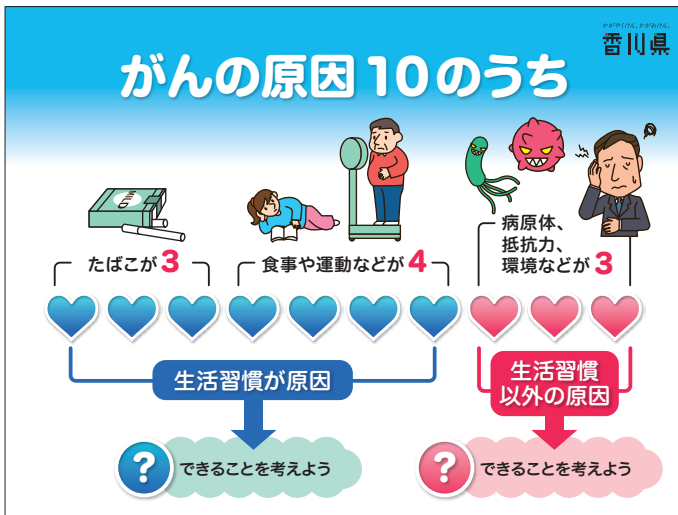
参考

検診で発見できる早期がんといわれる大きさになるまでの成長速度は、比較的長く10年～15年程度かかる場合があります。しかし、早期がんから進行がんになる時間は比較的早く、数年かかる場合もあれば1～2年のものもあります。

がんの塊は、正常な細胞よりも栄養が必要であり、体の栄養を奪い取ってしまいます。また、大きくなったがんは、分裂の速度を上げ、リンパ液や血液などの流れにのり他の臓器に転移して大きくなっていきます。

がんが進行すると、栄養不足を起こすだけでなく、塊となったがんによって臓器が圧迫を受けたり、がんが原因で炎症が起こったりします。

スライド10 がんの原因10のうち



スライドの内容

がんができる原因とその割合を学習します。大きく分けて、生活習慣に関わる原因と生活習慣以外の原因があることを学習します。

これらの原因から、がんを予防するためにできることを考えます。

指導上の留意点

生活習慣以外の原因は、感染、放射線、化学物質、遺伝などがあり、日本人は感染による原因が多いという研究結果が報告されている。

ナレーション

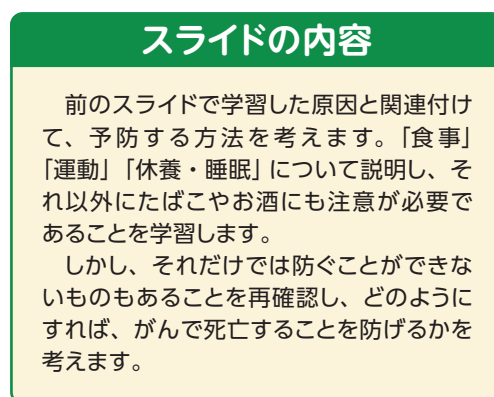
- では、次ががんの原因について、見てみましょう。
- がんになる原因が10あると考えて、
- たばこの影響が3です。
- 食事や運動などの影響が4といわれています。
- これらの、たばこや食事、運動などは生活習慣ですね。
- しかし、まだ、あと3の原因が残っていますね。それは何か分かりますか？
- それは、病原体や抵抗力や環境などです。たばこを吸わず、よい生活習慣を心がけて生活していても、がんになることがあるのです。
- がんそのものが人から人へうつることはありません。
- では、原因にあわせて、できることを考えてみよう。

参考

生活習慣以外の原因には、感染が多くを占め、ピロリ菌（胃がん）・ヒトパピローマウイルス（子宮頸がん）・肝炎ウイルス（肝がん）などがあります。その他、遺伝や放射線や化学物質などがあります。しかし、遺伝ががん全体に占める割合は5%とごくわずかです。

また、病気のがんは風邪やインフルエンザとちがいで人から人へうつる病気ではありません。

スライド 11 がんを予防するために できること!



ナレーション

- がんを予防する方法は、よい生活習慣です。みなさん考えてみましょう。
- 3年生の時からみなさんが勉強してきたことですが、よい生活習慣とは、食事、運動、休養・睡眠でしたね。
- 食事は、栄養のバランスを考えて、取るようにしましょう。
- 運動不足にならないように、適切な運動をするようにしましょう。
- 1週間で3日くらいは、汗を流すくらいの運動をしましょう。
- そして、休養や睡眠をしっかり取りましょう。
- その他、たばこを吸うことやお酒の飲み過ぎも気をつけなければなりません。
- でも、よい生活習慣をしていてもがんを防げないことがあります。
- がんの原因のところでも学習しましたね。
- では、もし、がんになってしまったら、治せないのでしょうか。

スライド12 がんから命を守るために大切なこと!

香川県

がんから命を守るために ～大切なこと!!～

- 1 早く見つける。

がん検診車
- 2 早く治りようを開始する。

チームで治りようをします。

香川県で、がん検診を受けたのは **3人に1人**

スライドの内容

がんから命を守るために重要なことを学習します。

がんがまだ小さく、自覚症状がない時期に発見すること、また、早く治療を開始することが大切です。

小さいがんを早く見つける方法は、「がん検診」です。

しかし、香川県で検診を受けているのは、3人に1人と少ないです。

残りの人は、早く見つける機会を逃しています。

ナレーション

- がんから命を守るために大事なことが2つあります。
- がんを早く見つけることと、早く治療を開始することです。
- がんを早く見つけるための、がん検診は、まだ病気の症状が出ていないときに受けるものです。
- 写真のような「がん検診車」があり、がんになりやすい年齢の大人は検診を受けることができます。
- しかし、残念なことに香川県で、がん検診を受けた大人は、3人に1人しかいませんでした。
- みなさんは、このことをどう思いますか?
- がんはできるだけ早く小さいうちに見つけ、病院で治療をします。病院では、医師や薬剤師、看護師、放射線技師など多くの医療スタッフがチームを組んで治療をしています。新しい治療方法もどんどん開発されています。

参考

多くの人がかかるがんを見付ける方法として「がん検診」があります。がん検診で、がんを早い段階で見付け、治療することにより、がんを治せる可能性は高くなりますが、すべてのがんが見付けられるというわけではありません。

早期でがんが発見された場合（進行度が限局）の5年後の生存率は、肺がん74.4%、胃がん95.9%、大腸がん92.5%～96.0%、乳がん97.4%、子宮頸がん93.1%と年々高くなっています。（がんの統計2011年版）

スライド13 お母さんとお医者さん①



スライドの内容

早期のがんと診断されたお母さんと家族の経過を学習します。

指導上の留意点

登場人物の気持ちになることを促す。

ナレーション

- 実際に肺がんになった人に話を聞いてみました。
- このお母さんは、集団検診で肺にかげが見つかりました。
- お母さんは、「もしがんだったらどうしよう。手術をすることになるのかなあ。」と不安でいっぱいでした。
- お医者さんに「右の肺に早期がんと思われる影があります。早く治療すると治る確率が高いです。」と言われました。
- お母さんはたばこを吸っていなかったのですが、肺がんになっていたのです
- お母さんは、先生の勧めに従って手術をすることを決めました。
- 早期の小さいがんだったため、体に負担のかからない手術で治療することができました。

スライド 14 お母さんとお医者さん②



スライドの内容

お母さんの治療から、お父さんの気持ち、子どもの気持ちを考えます。

お話のお母さんは、早く見つけて、早く治療を開始することができ、元気になることができました。

これまでの学習をふりかえり、自分たちができることを考えます。

家族に伝えたいメッセージなどについても問いかけます。

ナレーション

- お母さんは子どもと一緒に料理をしながら、元気になった嬉しさを感じています。
- お母さんは、検診を受けて、がんが早期発見できたことに感謝しています。
- お父さんは、家族や自分のためにもたばこを止めて、毎年検診も受けるようにしました。
- さあ、自分や家族が、がんで命をおとさないために、できることを考えよう。
- みなさんは、どんなことができますか？

4 小学校6年生補助教材 (ワークシート・事前事後アンケート)

1 ワークシート



がん博士になろう!

がんのひみつ

学習の
めあて

がん博士クイズ

1 がん博士クイズに答えよう。説明を聞いて () にあてはまる言葉を書こう。

① 日本人の5人に1人はがんになる。

答え ○ ・ ×

② 香川県の死亡原因の1位はがんである。

答え ○ ・ ×

③ がん細胞は、毎日作られている。

答え ○ ・ ×

説明

日本人は、一生のうち
()人に1人
はがんになる可能性が
あるといわれています。

なんもん

難問クイズ

1 日に体の中で作られるがん細胞の数はどのくらいでしょう。

答え ①1個 ②たくさん

ことばの 解説

①細胞

生物を形づくる、最も基本となるもの。小さな部屋のようになっていて、分裂(ぶんれつ)によってふえていく。

②遺伝子(いでんし)

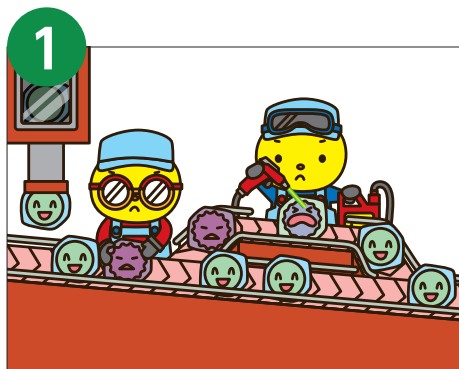
生物の形や、性質(せいしつ)を決めもとなるもの。細胞(せぶ)のとき、複製(ふくせい)される。

③免疫(めんえき)

からだの中の病原体など、異物(いぶつ)を攻撃(こうげき)、破壊(はかい)して、からだを守るはたらき。

がんができるまで

2 がんができるまでの絵をみて () にあてはまる言葉を書こう。



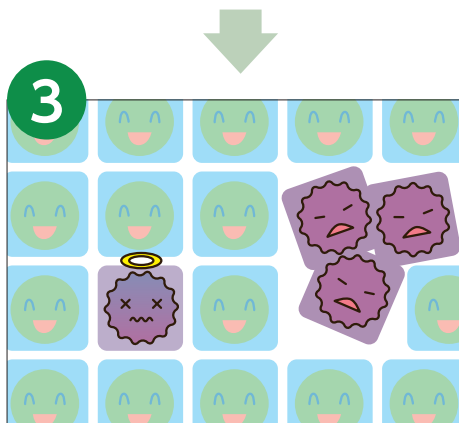
時々、細ぼうの設計図のミスで、設計図と違う細ぼうができますが、ナオスくんたちが見つけて () します。

知識 ナオスくんは、細ぼうの中にある「がんをおさえる遺伝子(いでんし)」です。

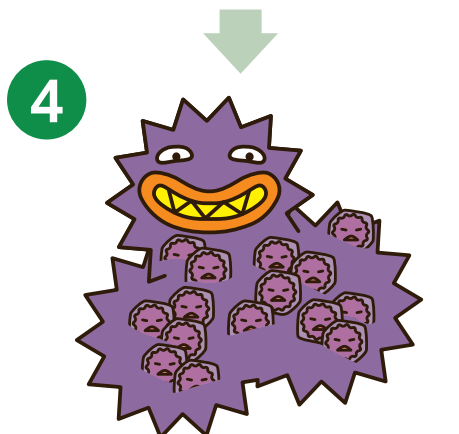


修理できずに、がん細ぼうはできてしまいます。健康な人もそのがん細ぼうは、1日 () 個できています。マモルくんたちは、がん細ぼうを見つけて攻撃 (こうげき) し退治 (たいじ) する免疫 (めんえき) というしくみ。

知識 マモルくんは、がん細ぼうを見つけて攻撃 (こうげき) し退治 (たいじ) する免疫 (めんえき) というしくみ。



しかし、 () できないがん細ぼうもあります。



生き残ったがん細ぼうは、体の栄養を奪いながら長い時間をかけて、増えていきます。

増えてかたまり、 () になります。

知識 がん細ぼうが、血管などに入り込むと全身に広がり新たにがんのかたまりを作ります。

がんの原因10のうち

3 がんになる原因にあてまるものを下の□から選んで書こう。

④ □

⑤ □

⑥ □ など

① □

② □

③ □

生活習慣
以外の原因

環境 ・ たばこ ・ 食事や運動など ・ 生活習慣が原因 ・ 病原体 ・ 抵抗力

がんを予防するために～できること!～

4 がんを予防するよい生活習慣を考えてみよう。

よい生活習慣

食事は □ とる。

□ 運動をする。

□ 休養・睡眠をとる。

がんから命を守るために～大切なこと!～

5 がんから命を守るために大切なことを考えよう。

① □

② □

がん検診車

チームで治りようをします。


考えてみよう



6 がんを予防するために、自分に何ができるか考えましょう。

7 大切な人にメッセージを書こう。

_____ さんへ



.....
.....
.....
.....
.....

8 お家の方からのメッセージ

2 事前事後アンケート

事前

がん博士になろう! がんのひみつ

今の生活を振り返り答えしてみよう。
答えはすべて1つ○をつけましょう。

1. 給食を残さず食べていますか。

- ア 食べている
イ ときどき残す → ★をこたえよう
ウ 毎日残す → ★をこたえよう

★残したことがあるものは何ですか?

2. 毎日何時間くらい寝ていますか?

() 時間

3. 1週間のうち何日くらい身体からだを動かして遊んだり、運動したりしていますか?

() 日

4. 「がん」についてどのようなイメージをもっていますか。

- ア こわい イ どちらかといえばこわい ウ どちらかといえばこわくない
エ こわくない オ わからない

5. あなたは将来、しょうらい「がん」になるかもしれないと思いますか。

- ア 思う イ 思わない ウ わからない

6. がんは、なおると思いますか。

- ア どんながんでもなおる イ 早く見つけるとなおる
ウ 適切な治療てきせつ ちりょうをすれば治る エ なおらない オ なおるかどうかわからない

7. がんについて知っていることやイメージをできるだけたくさん書こう。

がん博士になろう! がんのひみつ

がんの学習を振り返り答えてみよう。

答えはすべて1つ○をつけましょう。

1. 「がん」についてどのようなイメージをもっていますか。

- ア こわい イ どちらかといえばこわい ウ どちらかといえばこわくない
エ こわくない オ わからない

2. あなたは将来、^{しょうらい}「がん」になるかもしれないと思いますか。

- ア 思う (理由:)
イ 思わない (理由:)
ウ わからない (理由:)

3. がんは、なおると思いますか。

- ア どんながんでもなおる イ 早く見つけるとなおる
ウ 適切な治療^{てきせつ ちりょう}をすれば治る エ なおらない オ なおるかどうかわからない

4. がんの学習で学んだことを誰^{だれ}に伝えたいですか。

- ア お父さん イ お母さん ウ おじいちゃん・おばあちゃん
エ 友だち オ 家ぞく全員 カ その他の人()

5. がんの学習でどのようなことを伝えたいと思いましたか。

- ア がんは2人に1人がなる可能性があること
イ がん細胞やがんができるまでのこと
ウ がんを予防する生活習慣のこと
エ 肺がんのこと
オ がんは治る病気だということ
カ がん検診が大切なこと

5 中学校スライドショー 「科学的ながんの知識 がんちゃんと学ぼう」 内容・指導の留意点

科学的ながんの知識 がんちゃんと学ぼう

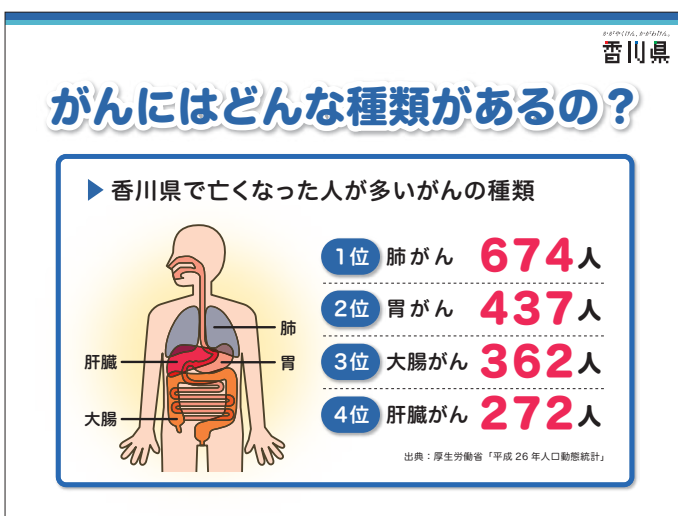
スライド 1



スライドの内容

- 本授業の導入であり、ゲストティーチャーから科学的ながんを学習する気持ちを高めるためのスライドです。

スライド 2



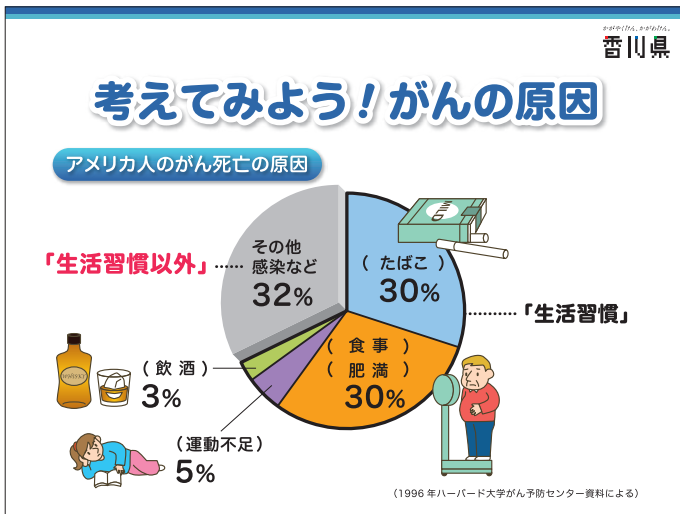
スライドの内容

- 香川県で多く死亡しているがんの種類を説明するスライドです。

指導上の留意点

- 死亡人数は、全年齢の男女合わせた統計データです。

スライド 3



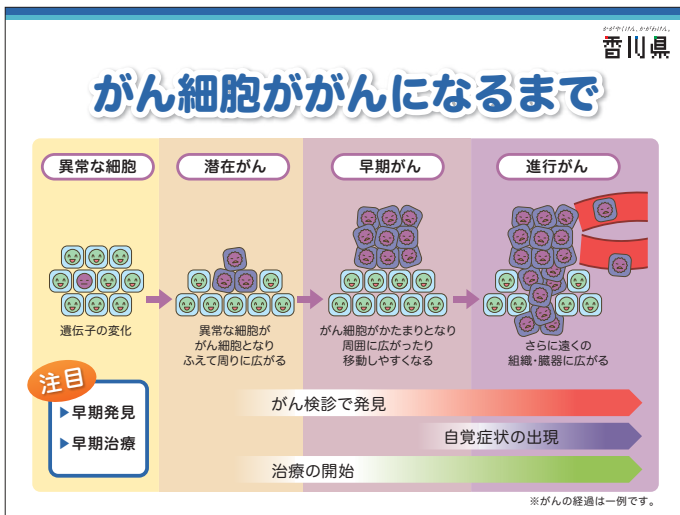
スライドの内容

- 欧米での調査結果を参考にがんの原因と割合を学習するスライドです。
- 原因を分類し、生活習慣以外の原因を確認します。

—— 指導上の留意点 ——

- 欧米の調査であるため、日本人と事情が異なる面がありますが、食習慣の欧米化により、大腸がんや乳がんなど欧米に多かったがんの割合が増えていることも考慮が必要です。

スライド 4



スライドの内容

- がん細胞が細胞分裂によってがんとなり、さらに分裂を繰り返し進行したがんとなり、転移する過程を確認するスライドです。
- がんになる過程から発見時期と発見経路について確認し、治療の影響を理解します。

—— 指導上の留意点 ——

- がんになる過程は、一例であり例外もあります。
- 罹患率の高いがんは検診が準備されているが、すべてのがんが検診によって見付けられるということではありません。

スライド 5

香川県

市町で受けられるがん検診

① 種類	② 対象となる人	③ 受診間隔
肺がん検診	40歳以上の男女	1年に1回受診
大腸がん検診	40歳以上の男女	1年に1回受診
胃がん検診	原則50歳以上の男女	原則2年に1回受診
乳がん検診	40歳以上の女性	2年に1回受診
子宮頸がん検診	20歳以上の女性	2年に1回受診

肺がん検診
大腸がん検診

スライドの内容

- 市町で受けられるがん検診の種類と対象年齢などを確認します。
- スライド2で香川県の死亡者が多いがんについて検診が準備されていることを確認します。

—— 指導上の留意点 ——


- 女性は、女性特有のがん検診があり、子宮頸がんは、予防接種を受けるだけでなく、定期的ながん検診を受けることが大切であることを確認します。

スライド 6


香川県

がんを治す方法は いろいろあります


おもながんの治療方法



手術



緩和ケア




放射線療法

早期発見・早期治療

その人にあった治療方法を考えます。

- ▶ がんの種類・型
- ▶ がんの大きさ・進行度
- ▶ がんのできている場所
- ▶ 患者の年齢・体力
- ▶ 病院の施設・スタッフ
- ▶ 本人・家族の希望

チームでがん医療を支えます。



化学療法

スライドの内容

- がんの治療は、「手術」「化学療法」「放射線療法」に加え、緩和ケアがあることを確認します。
- がんの種類や患者さんの状況に合わせた適切な治療を組み合わせ、チームを組んで治療を行っていることを確認します。

指導上の留意点

- 家族ががんの治療中や、またはがんによりなくなっている生徒への心理的配慮が必要になります。

スライド 7

香川県

将来の自分へのメッセージ

30年後の自分へ

中学 年生の より

スライドの内容

- がんを予防するために、自分ができるところを、未来の自分へのメッセージとして考えます。

指導上の留意点

- 授業で学習したことを振り返りながら考えるようにします。

6 中学校補助教材 (ワークシート・事前事後アンケート)

1 ワークシート

科学的ながんの知識

がんちゃんと学ぼう



がん○×クイズ

○・×をつけよう

クイズ1 日本人の4人に1人はがんになる?

答1

クイズ2 がん細胞は毎日作られている?

答2

クイズ3 肉食ばかりだと、がんになりやすい?

答3

クイズ4 お酒を飲みすぎると、がんになりやすい?

答4

クイズ5 たばこががんは関係ない?

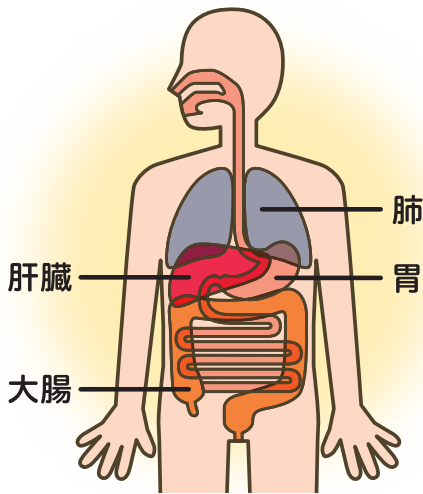
答5

見てみよう! 振り返ってみよう!

DVDがんちゃんの冒険

オッジはどんな生活でしたか? (自分と同じ生活と思うものを○で囲んでみよう)

香川県で亡くなった人が多いがんの種類



がんの種類を考えてみよう。

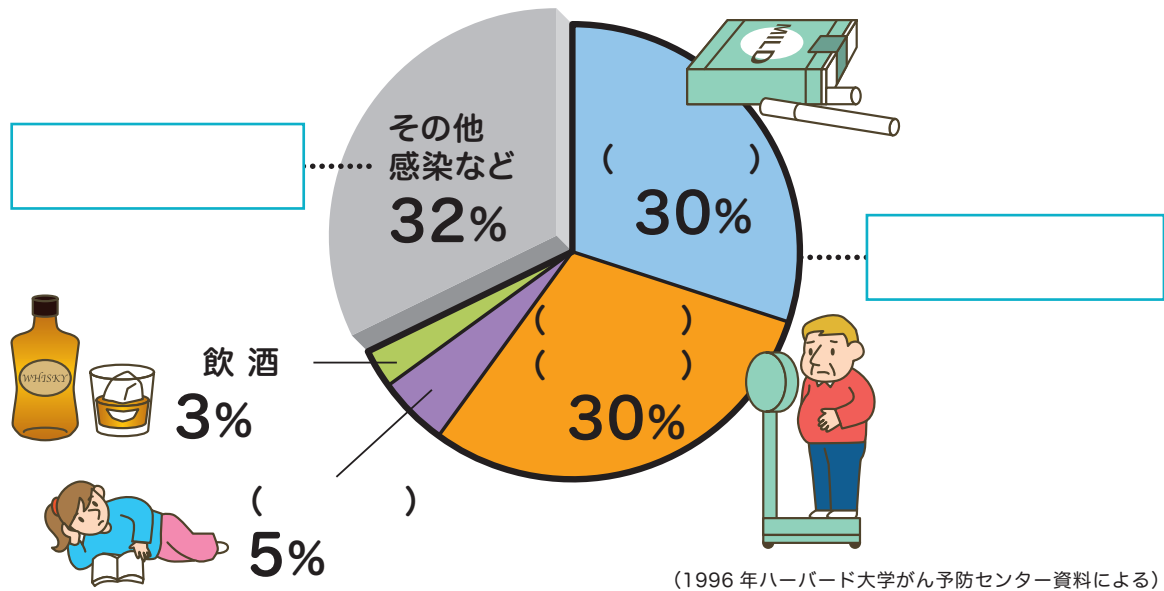
1位	<input type="text"/>	674人
2位	<input type="text"/>	437人
3位	<input type="text"/>	362人
4位	<input type="text"/>	272人

考えてみよう!がんの原因

- これまでの研究から、がんと生活習慣とのかかわりが深いことが明らかになっています。
- がんの原因と割合について考えてみよう。

がんの原因は
どのようなものがあるだろう?
話し合ってみよう。

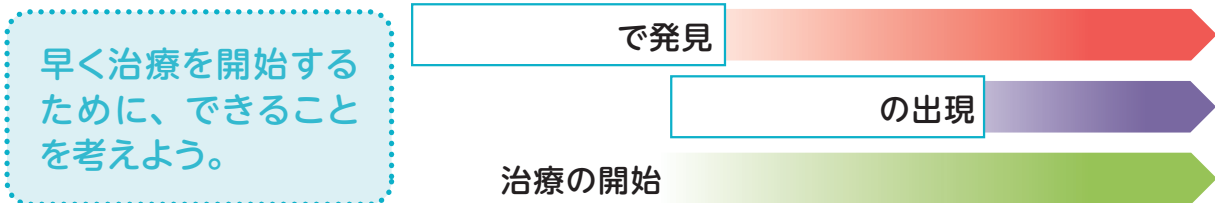
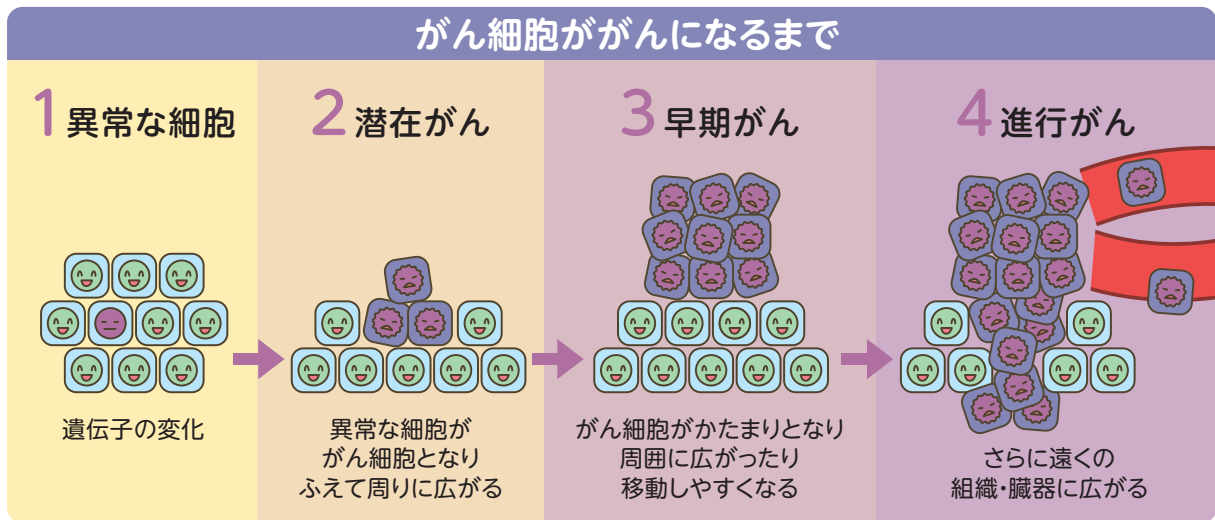
アメリカ人のがん死亡の原因



まとめ

	割合	分類すると	
$30+30+5+3\% =$	<input type="text"/> %	<input type="text"/>	できることを考えよう。
	32 %	<input type="text"/>	できることを考えよう。

がん細胞の成長と発見



受けられるがん検診

肺がん検診	40歳以上の男女	1年に1回受診
大腸がん検診	40歳以上の男女	
胃がん検診	原則50歳以上の男女	原則2年に1回受診
乳がん検診	40歳以上の女性	2年に1回受診
子宮頸がん検診	20歳以上の女性	

がんの治療

• 治療方法の種類を書きましょう。

その人にあった治療方法を考えます。

- ▶ がんの種類・型
- ▶ がんの大きさ・進行度
- ▶ 患者の年齢・体力
- ▶ 病院の施設・スタッフ
- ▶ 本人・家族の希望

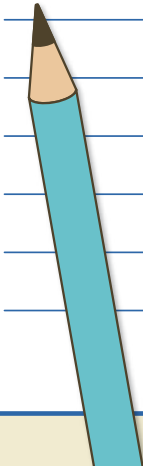
おもながんの治療方法

緩和(かんわ)ケア
がんによる、体や心の痛みやつらさをやわらげる

かんわ 緩和ケア

将来の自分へのメッセージ

30年後の自分へ



中学 年生の より

授業の感想や家族に伝えたいこと

家族に感想を書いてもらおう。

より

コラム がんを経験したAさんの声 (40歳代女性)

子どものときから病気とは無縁でした。“健康には気をつけなきゃ”って油ものを避けたり、野菜をしっかりと食べたり、無理はしないように生活を続けていました。

それなのにいきなりのがん告知には強い衝撃を受けました。眠れない辛い毎日が続いて…ちゃんと生活していた私がどうしてこんなことに、と思いました。でも医師に「ちゃんと健康を気にかけていたから早く発見できたんですよ」と言われました。

今は、手術を受け、内服治療を継続しながら定期的に外来受診を続けていますが、がんになる前よりも元気だし、いきいきしているって家族にも言われます。がんという病気になったことを契機に、自然に「今」や「自分を」大切にして生きようと思っているからかもしれません。

2 事前事後アンケート

科学的ながんの知識

がんちゃんと学ぼう

事前

アンケート

あてはまるもの1つに○印をつけて下さい。

1. あなたは「がん」についてどのような印象をもっていますか。

- ① 怖い ② どちらかといえば怖い ③ どちらかといえば怖いと思わない
④ 怖いと思わない ⑤ わからない

2. あなたは将来「がん」になるかもしれないと思いますか。

- ① 思う ② 思わない ③ わからない

3. あなたは「がん」について家族と話したことはありますか。

- ① よくある ② ときどきある ③ ほとんどない ④ まったくない

4. あなたは家族が「がん検診」を受けているか知っていますか。

- ① はい ② いいえ

5. がんは、治ると思いますか。

- ① どんながんでも治る ② 早く見つけると治る ③ 適切な治療をすれば治る
④ 治らない ⑤ 治るかどうかわからない

自分の言葉で書いてみよう。

6. 「がん」と聞いて、思いつくことば(イメージ)をできるだけ多く書こう。

7 高等学校DVD

「保健サービスの活用～がん検診の大切さを考える～」

内容・指導の留意点

保健サービスの活用～がん検診の大切さを考える～

知識

スライド 1



スライド 2

生涯を通じる健康 香川県

がん罹患する確率 [全国]

生涯でがん罹患する確率は、男性62% (2人に1人)、女性46% (2人に1人)

部 位	生涯がん罹患リスク		何人に一人か	
	男性	女性	男性	女性
全 体	62%	46%	2人	2人
胃	11%	6%	9人	18人
大腸	9%	7%	11人	14人
肝臓	4%	2%	27人	50人
肺	10%	5%	10人	21人
乳房(女性)		9%		12人
子宮頸部		1%		74人

出典: 国立がん研究センター 累積罹患リスク(2011年データ)

スライドの内容

このスライドは日本人が生涯のうちがんに罹患する確率を男女別、部位別に示しています。

「全体」とは、すべてのがんを網羅したものです。

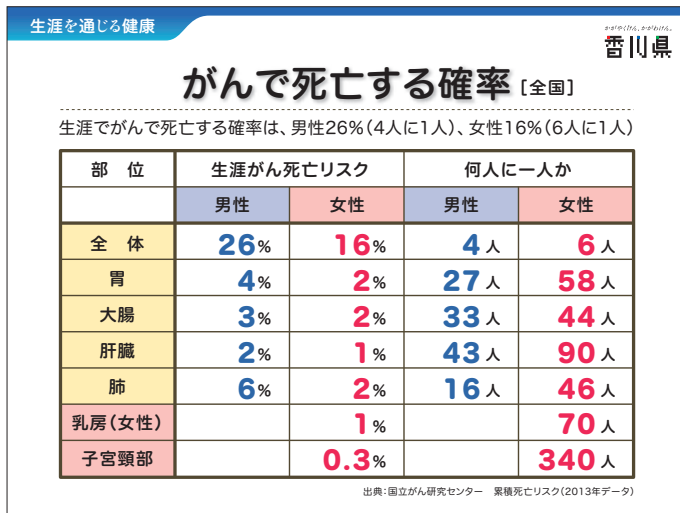
指導のポイント

- 男女とも2人に一人ががんにかかる可能性がある、身近な病気であることを認識させる。

ナレーション

生涯でがんにかかる確率は、男性は62%、女性は46%と約2人に1人です。

スライド 3



スライドの内容

このスライドは、がんで死亡する確率を男女別、部位別に示しています。「全体」とはすべてのがんを網羅したものです。

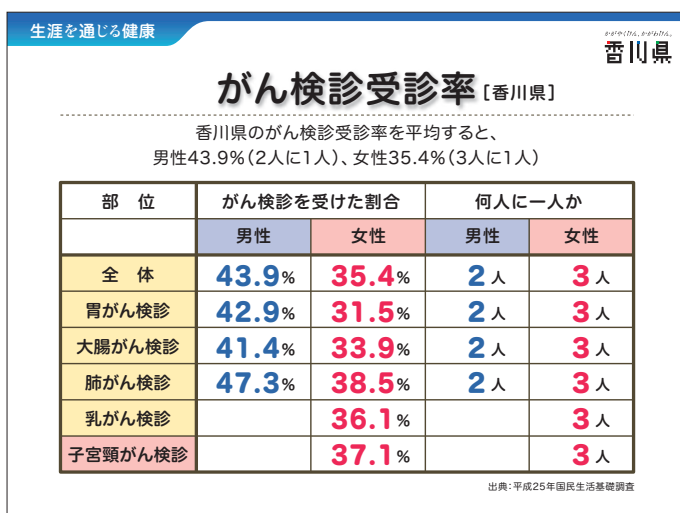
—— 指導のポイント ——

- 生涯のうちにがんで死亡する確率は、男性は4人に一人、女性6人に一人と男女の差があることを確認する。
- どうして男女の差が起こるのかを考えさせる。

ナレーション

生涯でがんで死亡する確率は、男性は26%と4人に1人であり、女性は16%と6人に1人です。

スライド 4



スライドの内容

このスライドは、香川県民のがん検診受診率を示しています。全体と各部位の検診別に示しています。

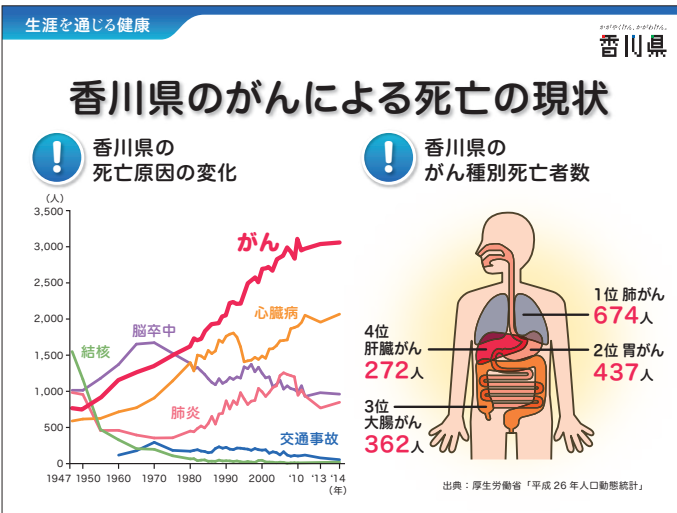
—— 指導のポイント ——

- 「全体」とは5つの検診の平均を示し、平均して2~3人に一人しか受けていないことを確認する。
- 厚生労働省では、がん検診の受診率が50%以上になると死亡率が低下すると予測していることを伝える。

ナレーション

香川県のがん検診受診率を平均すると、男性は43.9%、女性は35.4%と約3人に1人しか受診していません。

スライド 5



スライドの内容

このスライドは、香川県の死亡原因の変化をグラフで示しています。がんは1977年以來、死亡原因の第1位を占め、増加し続けています。

また、香川県のがん死亡のうち死亡者の多いがんの種類を順位とも示しています。

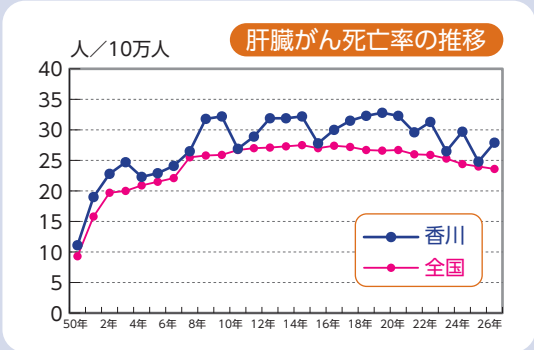
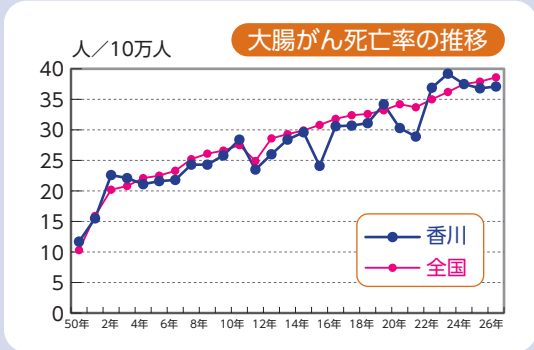
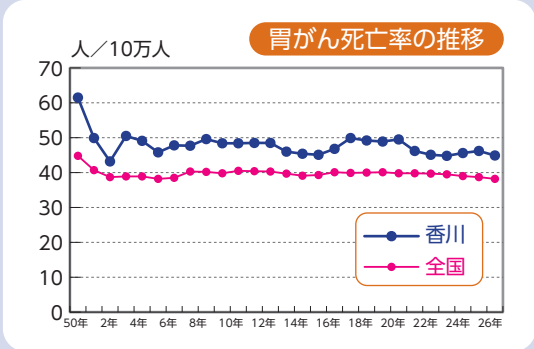
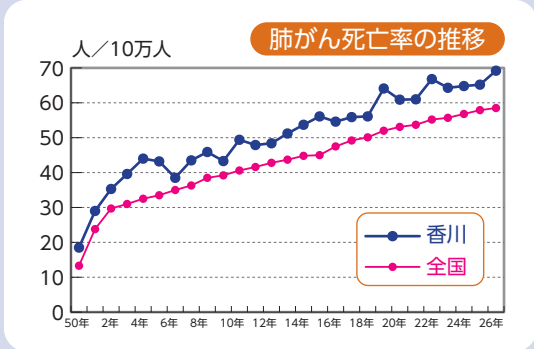
指導のポイント

- がんによる死亡の年代別の状況は、60歳代が45.9%と一番多く占め、50歳代が43.8%、70歳代が40.1%であり比較的若い世代の死亡が多いことを伝える。
- 種類別にみると1位の肺がんは増加傾向にあり、2位の胃がんは減少傾向。3位の大腸がんは近年増加傾向にあり、肝臓がんは横ばい傾向にあることを伝える。

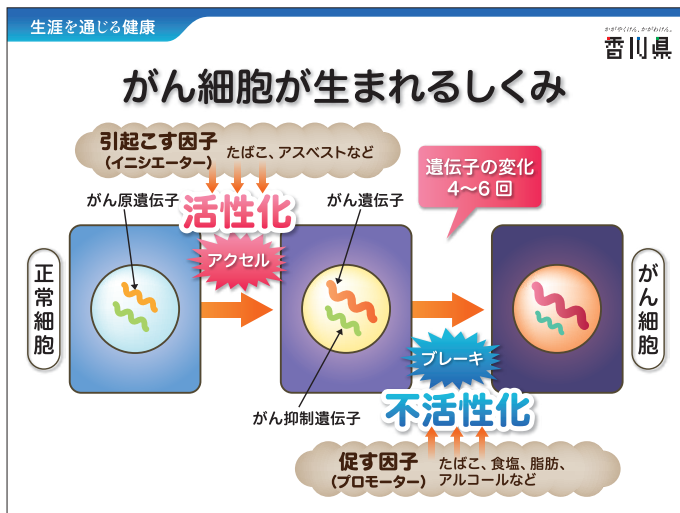
ナレーション

香川県では1977年から毎年、がんが死亡原因の第1位であり、がんによる死亡者数は増加傾向にあります。

参考資料 ▶ がんの部位別死亡率(人口10万対)人口動態統計(～平成26年)



スライド 6



ナレーション

これは正常細胞ががん細胞になっていく仕組みを表しています。

細胞の中心には核があり、核の中には遺伝子があります。遺伝子は細胞が生きていくための設計図のようなもので、必要な蛋白質を作ったり、細胞を分裂増殖させたりするもとなるものです。

この遺伝子の中には、がんを発生させるがん原遺伝子も含まれていますが、正常な状態では変化しません。しかし、たばこやアスベストなどの因子に刺激されると、アクセルが踏まれた状態になり、がん遺伝子に変化することがあります。

がん抑制遺伝子は、がん遺伝子の暴走を止める、ブレーキの役割をしますが、たばこやアルコールなどの因子がいくつも働くと、ブレーキがきかなくなり、がん抑制遺伝子が不活性化され、細胞はついにはがん細胞になってしまいます。

スライドの内容

このスライドは、正常細胞ががん細胞に変化していく様子を示しています。遺伝子の変化を加速、減速させる因子があること、遺伝子の変化は数回、繰り返されることによってがん細胞に変化することを理解します。

※ワークシートに記入を促します。

指導のポイント

- 遺伝子には、「がん原遺伝子」と「がん抑制遺伝子」さらに「がん遺伝子」があり、整理して理解させる。
- 遺伝子の変化を引き起こす因子や促す因子は複数あり、複雑に絡み合っていることを理解させる。

スライド 7

生涯を通じる健康 香川県

がん細胞が進行がんになるまで

注目

- ▶ 早期発見
- ▶ 早期治療

※がんの経過は一例です。

スライドの内容

このスライドは、前のスライドで説明したひとつのがん細胞が、さらに分裂繰り返し、塊のがんに成長していく過程を示しています。また、成長過程からがんを発見するタイミングと発見経路を理解します。

※ワークシートに記入を促します。

指導のポイント

- がんは、早期では自覚症状がないのが特徴であり、発見のタイミングは治療成績に影響することを理解させる。
- このスライドは、一部のがんの成長過程を例にわかりやすく摸式しているため、例外もありうることに留意する。

ナレーション

ここでは、がん細胞が進行がんになっていく経過を学習しましょう。

遺伝子の変化が繰り返され、正常な細胞が異常な細胞、がん細胞となります。がん細胞は分裂によって、がんの塊、潜在がんとなり、さらに分裂を繰り返し、検診で発見できる早期がんといわれる大きさになります。ここまでの成長速度は、比較的長い時間がかかりますが、早期がんから進行がんになる時間は比較的早く、数年かかる場合もあれば1～2年のものもあります。発見されずに進行したがんは身体の様々な組織や臓器に転移していきます。

スライド 8

生涯を通じる健康 香川県

市町が提供しているがん検診

種類	対象となる人	I期 (5年相対生存率) [※]	IV期 (5年相対生存率) [※]
肺がん検診	40歳以上の男女	82.9%	4.9%
胃がん検診	原則50歳以上の男女	97.2%	7.2%
大腸がん検診	40歳以上の男女	99.0%	18.1%
乳がん検診	40歳以上の女性	99.9%	32.6%
子宮頸がん検診	20歳以上の女性	92.3%	21.8%

※出典：全国がん(成人病)センター協議会 部位別臨床病期別5年相対生存率(2004～2007年症例)

スライドの内容

このスライドは、市町が実施するがん検診の種類と対象者を示しています。また、検診のある5つのがんについて、発見された病気の進行段階別の5年生存率を示しています。

指導のポイント

- がん検診の対象者は、がんの罹患率が上がる年代を対象に設定している。
- 子宮頸がん検診は、20歳代後半から罹患率が上がるため20歳から対象になることを伝える。
- 対象の年齢になれば、定期的に受診することが重要であることを伝える。
- がんの進行はステージ (I～IV期) で表す。

ナレーション

市や町では5つのがん検診を提供しています。それぞれ対象となる年齢があります。がんは発見された段階によって5年相対生存率が違います。

早期がんであるI期の5年相対生存率は、IV期と比較すると高いことがわかります。

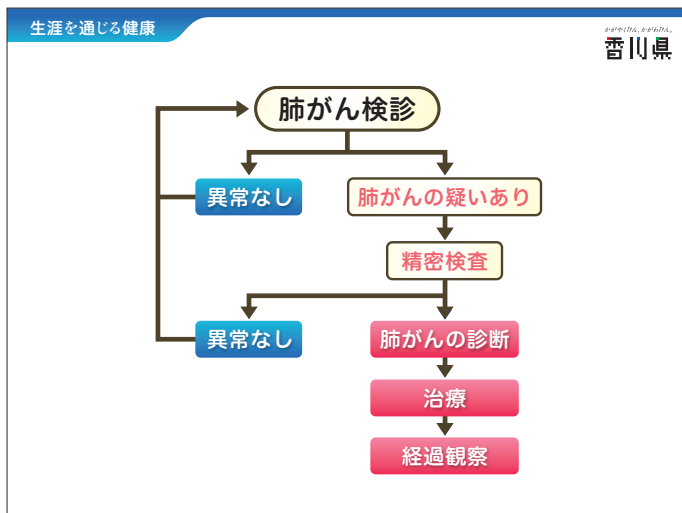
スライド 1



ナレーション

私の名前は、香川さぬき大学4年生です。ある日、53歳になる父ががんと告知され、私たち家族は、父と一緒にがんに向かい合うことを決心しました。父は30年来の喫煙者です。風邪もほとんどひくことがありませんでしたが、市のがん検診で肺がんと診断されました。父はサラリーマンです。会社では管理的な立場になり、ストレスを感じる事が多くなったそうです。リラックスできる時間は、唯一たばこを吸う時間だったのかもしれませんが。

スライド 2



ナレーション

肺がん検診のあと、しばらくしてがんの疑いがあるという通知が届き、精密検査を受けることになりました。

スライド 3



ナレーション

私は、精密検査の結果を聞くために父と一緒に病院へ行きました。病院の先生からは、

スライド 4

生涯を通じる健康 香川県



肺線がん I期

ナレーション

「肺にがんが見つかりました。早期に見つかったのは肺がん検診のおかげですね。これから、治療のことを一緒に考えていきましょう…。まずは、治療に向けて、たばこをやめましょう。」と言われました。

スライド 5

生涯を通じる健康 香川県



病院を後にする さぬきちゃん家族

ナレーション

父が最初に尋ねたことは、仕事のことでした。
私は、入院によって会社に迷惑がかかることを心配している父の姿に驚きを感じました。

スライド 6

生涯を通じる健康 香川県

主な検査と診断の方法

- ▶ 血液検査
- ▶ 画像検査
- ▶ 内視鏡検査
- ▶ 病理検査

ナレーション

がんを正確に診断するためには詳しい診察と検査が必要です。父の場合も、多くの検査を受けました。

スライド 7

生涯を通じる健康 香川県

主な検査と診断の方法

- ▶ 血液検査
- ▶ 画像検査
- ▶ 内視鏡検査
- ▶ 病理検査




肺がん細胞診検査
顕微鏡レベルで細胞の状態を観察

ナレーション


気管支内視鏡によって細胞をとり、細胞検査士が顕微鏡で観察しました。治療方法を決めるために、詳しいがんの大きさや進行度、心臓など他の臓器の状態の検査を行い、治療方針を検討します。

スライド 8

生涯を通じる健康 香川県

さまざまな職種がかかわるチーム医療


● 主治医	● 管理栄養士
● 病理医	● 薬剤師
● 放射線医	● 看護師
● 放射線技師	● リハビリ専門職
● 臨床検査技師	● 在宅医
● 緩和ケア医	● 相談員
● 精神科医	● 訪問看護師
● 心理士	● ケアマネージャー
● 歯科医	● ソーシャルワーカー



チーム医療のための検討会

その人にあった治療方法を考えます。

● がんの種類・型	● 患者の年齢・体力
● がんの大きさ・進行度	● 病院の施設・スタッフ
● がんのできている場所	● 本人・家族の希望



ナレーション

治療の方針は、多くの場合、色々な職種が集まったチームによる検討会を開催し、決めていきます。主治医の先生は、手術による切除が最良の選択と判断しました。

スライド 9

生涯を通じる健康 香川県




ナレーション

後日、治療方針を話し合うために病院にでかけました。たばこを吸う患者さんは、手術の後に、痰が非常に多く出るため肺の合併症の発生が高くなるそうです。たばこをやめることができた父は、手術を受けることを決め、手術前の準備を始めることになりました。看護師さんからは呼吸訓練を教わりました。

スライド 10

生涯を通じる健康 香川県

インターネットで
がんについていろいろ調べましたが、
情報がありすぎて
混乱してしまいました。
友人に相談したところ・・・
「がん相談支援センターに行こう。」
と、言われました。



ナレーション

私は、病院の先生の説明を聞いてインターネットでがんについて色々調べましたが、情報がたくさんありすぎて、混乱してしまいました。
不安になった私は、看護大学に通っている友だちに連絡をすることにしました。
友だちは、「がん相談支援センターに行こう。」と言ってくれました。

スライド 11

生涯を通じる健康 香川県

香川県がん診療連携拠点病院



1 香川大学医学部附属病院
2 高松赤十字病院
3 香川県立中央病院
4 香川労災病院
5 三豊総合病院

ナレーション


現在、香川県には「がん診療連携拠点病院」が5つあり、そこでは、がんについて無料で相談することができます。また、患者図書館があり、本はもちろんDVDの貸出し、またインターネットなども活用できます。そこで、私は香川県で利用できる保健医療サービスなどの情報を知ることができました。

スライド 12

生涯を通じる健康 香川県

相談センターを活用しましょう。

- ▶ がんについて「知りたい」とき
- ▶ がんの治療について「理解して納得したい」とき
- ▶ 生活や経済的なことで「心配がある」とき
- ▶ 「家族のことも相談してみたい」とき



「よく相談に来られましたね。」

ナレーション

相談支援センターの看護師さんの話では、「よく相談に来られましたね。御家族の方にとってもがんと向き合うことは、精神的な負担が大きくて、患者さんと同じように心のケアが必要になることもあります。調べた情報は必ず主治医の先生に確認することが大事ですよ。」と、いうことでした。

スライド 13

生涯を通じる健康 香川県立がんセンター 香川県

主ながんの治療方法

手術
緩和ケア
化学療法
放射線療法

ナレーション

父も私も、がんやがんの治療については本当に何も知りませんでした。これまで、自分には関係のない病気だと思っていたのかも知れません。がんの治療は、手術、化学療法、放射線療法といったがんそのものに対する治療と、がんに伴う体と心のつらさを和らげる緩和ケアも同時に行っていくそうです。

スライド 14

生涯を通じる健康 香川県立がんセンター 香川県

ナレーション

入院前日の夜、父の好きな料理が並んだ食卓を囲んで、家族でゆっくり食事をしました。

スライド 15

生涯を通じる健康 香川県立がんセンター 香川県

「退院後、何かやってみたいことはありますか。」

ナレーション

翌日、父は、入院し、主治医の先生から、これからの治療の説明を受け、「退院して2週間もすればこれまでの生活にもどることができます。退院後、何かやってみたいことはありますか?」と聞かれたそうです。

スライド 16

生涯を通じる健康 香川県



「退院後、何かやってみたいことはありますか。」

「ゴルフがしたいです。」

ナレーション

父は、「以前やっていたゴルフがしたい。」と答えたそうです。それから父は、ゴルフに出かけることを退院後の目標とし、それは私たち家族の目標にもなりました。

スライド 17

生涯を通じる健康 香川県

肺がん胸腔鏡手術



手術室で画面を見ながら手術をしています。

ナレーション

父は、胸腔鏡手術を受けました。このように早期がんは体の負担が少なく、傷跡が小さい比較的簡単な手術で済み、術後の回復も早いようです。

スライド 18

生涯を通じる健康 香川県



「がんは小さいうちは症状がないのが特徴です。がん検診は健康な人が受けるものです。」

ナレーション

父は、看護師さんから聞いたことをたくさん教えてくれました。「がんは小さいうちは症状がないのが特徴。検診は元気な人が受けるものと聞いて、お父さんは、検診を受けてよかったと思っている。」

スライド 19

生涯を通じる健康 がんサロンの活用 香川県



がんサロン
患者同士の支え合いの場を利用しよう

ナレーション

その病院には、がんサロンがありました。父は手術後の回復が順調だったのでがんサロンに参加することになりました。がんサロンとは、同じような経験を持つ患者さん同士が悩みを共有し、一緒に考え、患者さん自身が課題を解決できる方法を見いだす集まりです。治療は身体にも心にも大きな負担がかかります。最近では心のケアも重要視されています。

スライド 20

生涯を通じる健康 がんサロンの活用 香川県

がんと上手に付き合うための工夫

具体的なストレス対処方法例

- 1 過去に自分にとって役に立った対処方法を思い出して実践する。
- 2 自分の気持ちを身近な家族や友人に打ち明ける。
- 3 正しい情報を集める。
- 4 それぞれの問題に優先順位をつける。
- 5 自分を責めない。
- 6 自分の気持ちを尊重し、伝える勇気を持つ。
- 7 リラックスできるように工夫する。
- 8 患者会、がんサロンやサポートグループに参加する。
- 9 心のケアの専門家に相談する。

出典：「独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター」

ナレーション

上手に心の負担を乗り越える方法には、このようなものがあります。自分にあった方法を選ぶことが大切です。父は、病院での多くのがん患者さんとの出会いや様々な医療スタッフの支援によって、予定どおり退院の日を迎えることができました。

スライド 21

生涯を通じる健康 がんサロンの活用 香川県

働く人の健康を守るとりくみ



ナレーション

退院後2週間が過ぎ、父は仕事に復帰しました。会社では、健康管理をしている保健師さんとの面接があり、身体の回復にあわせた今後の仕事の調整について話し合いました。

スライド 22

生涯を通じる健康 香川県

健康を支える社会的とりくみ

香川県禁煙・分煙施設認定制度

きれいな空気が吸える環境づくりを目指します。



敷地内
禁煙施設



建物内
禁煙施設



完全分煙
禁煙施設

ナレーション

また、会社が敷地内禁煙になったと聞いたそうです。
 多くの人は、学校や病院、飲食店、事業所などの敷地内禁煙や建物内禁煙を望んでいるので、香川県でも認定制度が設けられているそうです。
 私も、そのような施設が増えていって欲しいと思いました。

スライド 23

生涯を通じる健康 香川県



ナレーション

父は、主治医の先生の勧めもあり、ゴルフに出かけることになりました。
 そして、笑顔がいっぱいの父の姿を家族全員で見送りました。

スライド 24

生涯を通じる健康 香川県



「家族みんなで乗り越えられたことが本当にうれしい。」
 「僕は、たばこは絶対に吸わない。」

ナレーション

母は、父が治療中は心配で眠れない日もあったけど、
 家族みんなで乗り越えられたことが本当にうれしいと話してくれました。
 弟は、「たばこはぜったいに吸わない。」と言いました。

スライド 25

生涯を通じる健康

香川県



ナレーション

数日後、私は、久しぶりに高校時代からの友だちに会いました。

私が、父の病気のことを話すと、友だちは、今、自分は子宮がんの疑いがあるため、半年ごとに病院を受診し、経過観察をしていると話してくれました。

彼女も検診のおかげで早期発見することができたようです。

父の治療でがんのことを学ぶ機会がたくさんありました。だからこそ、彼女の気持ちがよくわかり、

スライド 26

生涯を通じる健康

香川県



父も彼女も検診によって早期発見することができました。

「検診で見つけて本当によかったね。」

ナレーション

「検診で早く分かって、よかったね。」と、心から言ってあげられます。

父も、彼女ももし検診を受けていなかったら・・・

発見が1年遅かったら・・・どうなっていたことでしょう。

VI

参考資料

8 高校生補助教材 (ワークシート・資料・事前事後アンケート)

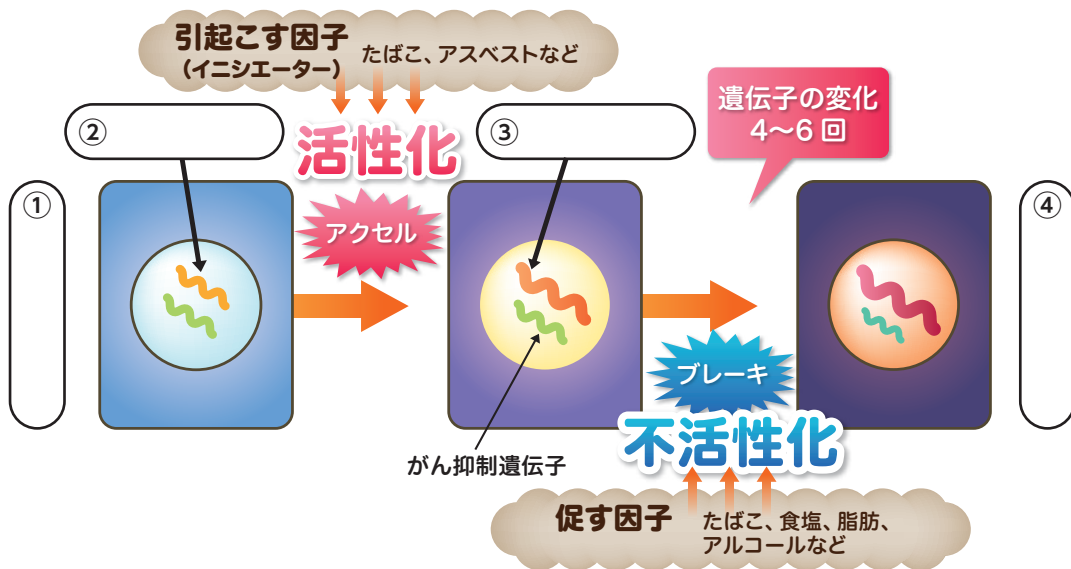
1 ワークシート

保健サービスの活用

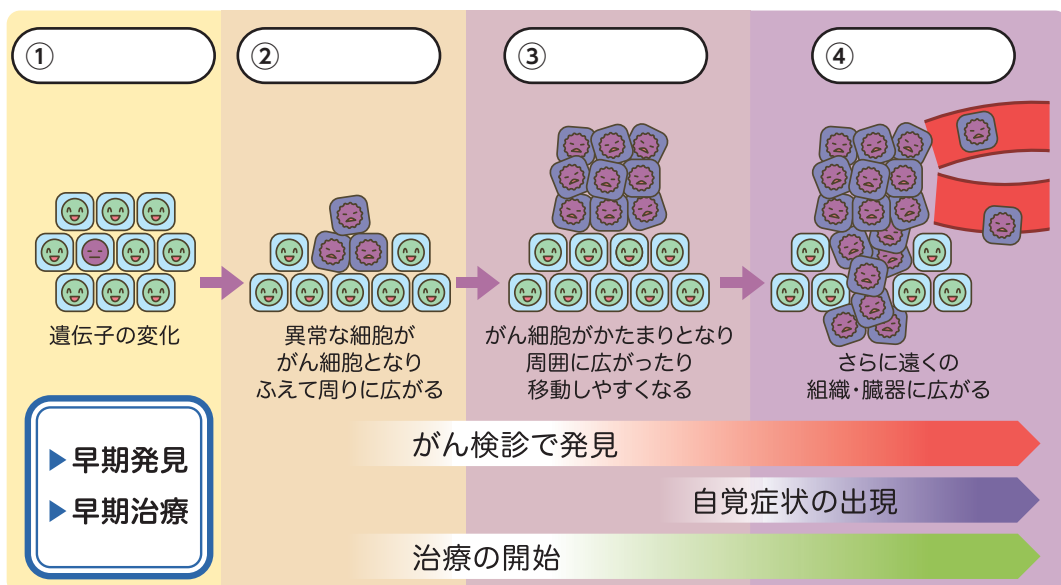
がん検診の大切さを考える

生涯を通じる健康

A がん細胞が生まれるしくみ



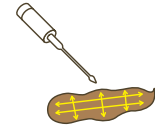
B がん細胞が進行がんになるまで



※がんの経過は一例です。

C 市町が提供しているがん検診

種類	対象となる人	I期(5年相対生存率) [※]	IV期(5年相対生存率) [※]
①	40歳以上の男女	82.9%	4.9%
②	原則50歳以上の男女	97.2%	7.2%
③	40歳以上の男女	99.0%	18.1%
④	40歳以上の女性	99.9%	32.6%
⑤	20歳以上の女性	92.3%	21.8%



大腸がん検診




肺がん検診

※出典:全国がん(成人病)センター協議会 部位別臨床病期別5年相対生存率(2004~2007年症例)

補足事項

D がんの治療方法




①

がんを外科的に切除します。

緩和ケア


②

がん細胞がふえる仕組みを防げる薬でがんを破壊・縮小させます。



③

遺伝子に作用して細胞がふえないようにしたり、細胞が新しい細胞に置き換わる時に脱落する仕組みを促すことで、がんを消滅・縮小させます。



緩和ケアは、がんが見つかったときから、体や心のつらさを和らげる医療やケアを行ないます。

自分や家族の「がん予防対策」を考えてみよう。

2 事前事後アンケート

保健サービスの活用

がん検診の大切さを考える

生涯を
通じる
健康

事前

アンケート

1～6について、あてはまるもの1つを選び回答欄に番号を記入して下さい。

1. 現在、「がん」という病気に対してどのような印象をもっていますか。

- ① 怖い ② どちらかといえば怖い ③ どちらかといえば怖いと思わない
④ 怖いと思わない ⑤ わからない

1. 回答欄

2. 将来、自分が「がん」という病気になるかかもしれないと思いますか。

- ① 思う ② 少し思う ③ あまり思わない ④ 思わない

2. 回答欄

3. がんは、治ると思いますか。

- ① どんながんでも治る ② 早く見つけると治る ③ 適切な治療をすれば治る
④ 治らない ⑤ 治るかどうかわからない

3. 回答欄

4. これまで「がん」という病気について、家族で話をしたことがありますか。

- ① はい ② いいえ

4. 回答欄

5. 自分の家族が、「がん検診」を受けているかどうか知っていますか。

- ① はい ② いいえ

5. 回答欄

6. 現在、自分自身の健康について、どのように思っていますか。

- ① 大切にしたい ② あまり意識したことがない
③ もし病気になっても治ると思う

6. 回答欄

7. 「がん」という病気に対して、どのようなイメージを持っていますか。

VI

参考資料

保健サービスの活用

がん検診の大切さを考える

生涯を通じる健康

事後

アンケート

1～6について、あてはまるもの1つを選び回答欄に番号を記入して下さい。

1. 今日の授業から、「がん」という病気に対してどのような印象をもちましたか。

- ① 怖い ② どちらかといえば怖い ③ どちらかといえば怖いと思わない
④ 怖いと思わない ⑤ わからない

1. 回答欄

2. 将来、自分が「がん」という病気になるかかもしれないと思いますか。

- ① 思う ② 少し思う ③ あまり思わない ④ 思わない

2. 回答欄

3. 将来、「がん検診」を受けようと思いますか。

- ① はい ② いいえ

3. 回答欄

4. がんは、治ると思いますか。

- ① どんながんでも治る ② 早く見つけると治る ③ 適切な治療をすれば治る
④ 治らない ⑤ 治るかどうかわからない

4. 回答欄

5. 今日の授業から、あらためて自分自身の健康についてどう思いますか。

- ① 大切にしたい ② あまり意識できない ③ もし病気になっても治ると思う

5. 回答欄

6. 今日の授業で印象に残ったのは、どの内容ですか。

7. 今日の授業から、がんについてもっと知りたいと思いましたか。

- はい いいえ



「はい」を選んだ人のみ、教えてください。もっと知りたいと思う内容は何か。

8. 今日の授業から、あなたが健康管理で心がけようと思ったことや、家族に勧めたいと思ったことを記入して下さい。

VI

参考資料

3 生徒用配布

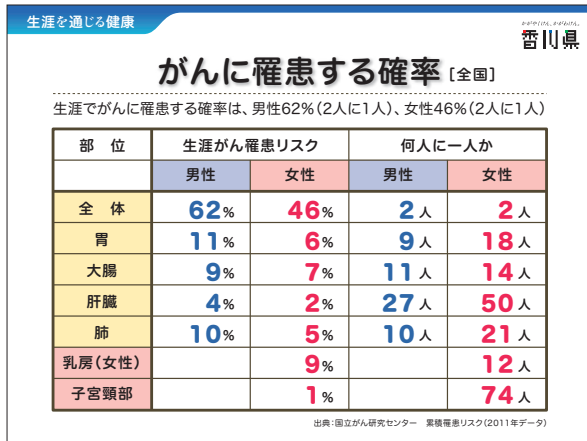
保健サービスの活用

がん検診の大切さを考える

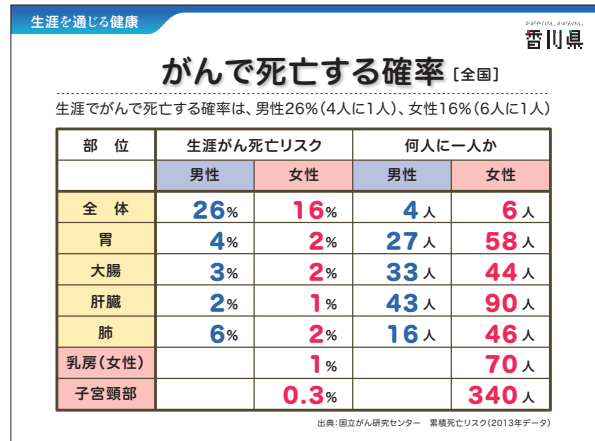
生涯を通じる健康

がんの現状

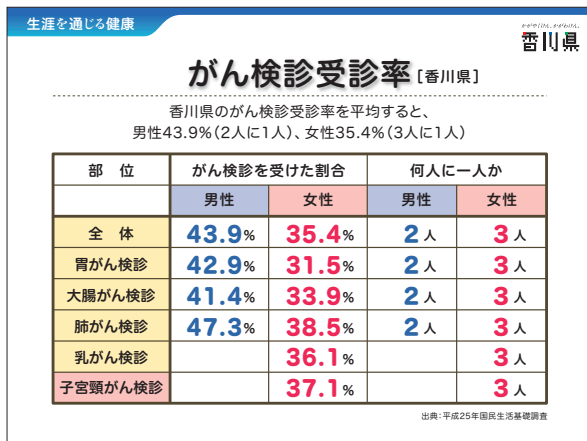
1



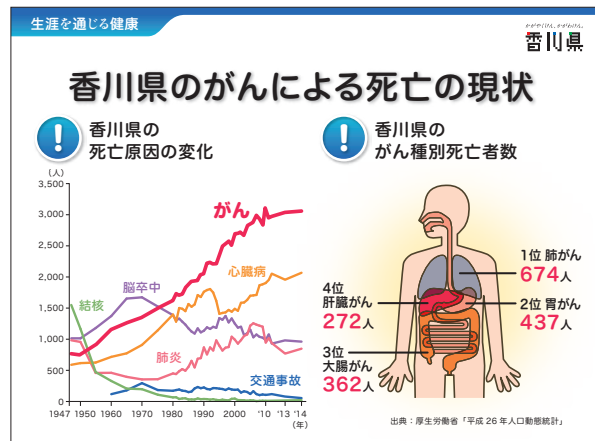
2



3



4



memo

がん (cancer) の名称は、乳がんの広がりがかにの姿に似ていることからラテン語の「カニ」に由来する。本来は上皮性の悪性腫瘍を指すが、一般には悪性腫瘍の総称としてとらえられている。

市町がん検診の受け方

- ① 事前申し込みが必要かどうか確認をしよう。
- ② 集団検診と個別検診を選択しよう。
- ③ 日時と場所を決めて、予約をしよう。
- ④ 受診券や自己負担金など持参物を確認しよう。
- ⑤ 詳しくは、居住地の市町役場、保健センターに問合せよう。

市町がん検診の検査方法と検査所要時間

- | | | |
|---|---|---|
| <p>① 肺がん検診 約5分
問診、胸部エックス線検査、喀痰細胞診</p> <p>③ 大腸がん検診 約5分
問診、免疫便潜血検査2日法</p> | <p>② 胃がん検診 約30分
問診、胃部エックス線検査</p> <p>④ 乳がん検診 約20分
問診、視診、触診、乳房エックス線検査</p> | <p>⑤ 子宮頸がん検診 約10分
問診、視診、子宮頸部細胞診</p> |
|---|---|---|

香川県がん征圧
イメージキャラクター
ソウキくん



香川県がん診療連携拠点病院と 相談支援センター

がん診療連携拠点病院

厚生労働省が指定した病院で、専門的ながん医療の提供、がん診療の連携協力体制の整備及び、相談支援や情報提供などの役割を担っています。



相談支援センター

がん診療連携拠点病院に設置されている「がんの相談窓口」です。患者さんや家族に、がんに関する情報を提供したり、相談にお応えしています。がん専門相談員としての研修を受けたスタッフが、信頼できる情報に基づいて、がんの治療や療養生活全般の質問や相談をお受けしています。病院によっては、相談の内容に応じて、専門医やがんに詳しい看護師（認定看護師、専門看護師）、薬剤師、栄養士などの専門家が対応できる連携体制を整えているところもあります。がん診療連携拠点病院で診察を受けていない方も利用できます。

① 香川大学医学部附属病院 がん診療相談支援室
電話 087-891-2473(直通)

② 香川県立中央病院 がん相談支援センター(地域連携室内)
電話 087-811-3333(内線2203)

③ 高松赤十字病院 がん相談支援センター
電話 087-831-7101(内線1171)

④ 香川労災病院 医療・看護相談支援センター
電話 0877-23-3111(内線3100)

⑤ 三豊総合病院 がん相談支援センター
電話 0875-52-3366(内線1170)

がんの情報を知るウェブサイト

香川県がん対策ホームページ

<http://www.pref.kagawa.lg.jp/kenkosomu/cancer/link.html>

香川県がん診療連携協議会

<http://www.med.kagawa-u.ac.jp/~gan/kyougi/index.html>

国立がんセンター がん対策情報センター

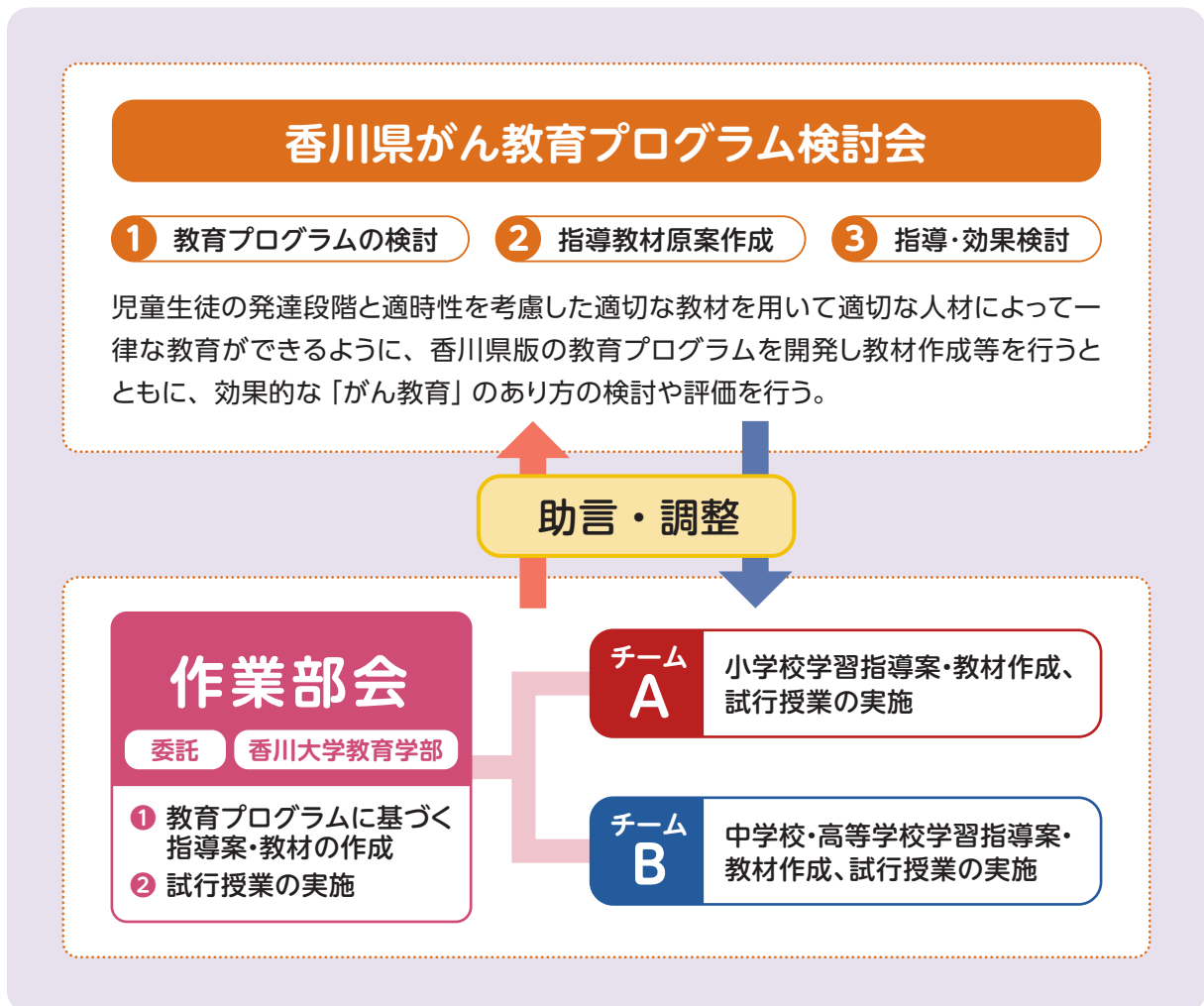
<http://ganjoho.jp/public/index.html>

VII

香川県がん教育 プログラム検討の経過

1 香川県がん教育プログラム検討会の設置

平成23年12月に、医療・教育・行政の関係者、がん患者等で構成する「香川県がん教育プログラム検討会」を立ち上げ、がん教育のあり方について検討を行いました。検討会では、小・中・高の教員や香川大学教育学部の関係者等で構成する作業部会を設け、発達段階に応じた到達目標の設定や教材・学習指導案の作成を行うとともに、がん教育を進めるための研修会の開催や公開授業・試行授業等を通じて、がん教育の実践に向けた検討を行いました。



1 香川県がん教育プログラム検討会

平成26年3月現在

	氏名	所属	
1	池本 美智代	香川県立中央病院(香川県放射線技師会)	
2	大西 えい子	香川大学教育学部	
3	岡野 愛子	高松赤十字病院(香川県薬剤師会)	
4	白川 律子	三豊総合病院(香川県看護協会)	
5	池田 信子	香川県在宅保健師会	
6	十枝 めぐみ	綾川町国民健康保険綾上診療所(学校医代表者)	
7	中野 正行	日本細胞検査士会香川県支部	
8	中村 桂井子	がんの子どもを守る会香川支部(香川県内がん患者団体)	
9	徳重 貴子	高松市保健所保健センター	
10	二島 多恵	香川がん患者おしゃべり会(香川県内がん患者団体)	
11	西谷 美鈴	香川県教育委員会保健体育課	
12	西田 智子	香川大学教育学部	
13	藤川 美智子	高松市民病院(香川県栄養士会)	
14	三野 八重子	香川県PTA連絡協議会	
15	吉澤 潔	高松赤十字病院	会長

オブザーバー

1	岡野 由佳	香川県国保連合会
2	藤田 純子	香川県総合健診協会
3	小倉 永子	小豆総合事務所
4	飯原 茂生	東讃保健福祉事務所
5	橋本 真澄	中讃保健福祉事務所
6	細谷 キヨミ	西讃保健福祉事務所
7	河原 俊巳	高松市立弦打小学校(香川県小学校教育研究会学校保健部会長)
8	小野坂 寧晃	高松市立古高松中学校(香川県中学校体育連盟部活動研究部副部会長)
9	小坂 真智子	香川県立香川中央高等学校(香川県高等学校教育研修会保健体育部会保健養護部会長)

VII

2 作業部会

平成26年3月現在

	氏名	所属
1	塩田 悦子	高松市立亀阜小学校
2	吉原 由利子	高松市立木太小学校
3	宮脇 貴子	高松市立屋島小学校
4	中井 真弓	さぬき市立長尾中学校
5	塩田 崇世	高松市立桜町中学校
6	柳谷 貴子	香川県立高松西高等学校
7	中矢 晃子	香川大学医学部附属病院がん診療相談支援室

3 香川県がん教育プログラム検討会の開催

日にち	検討内容
23.12.3 第1回	<ul style="list-style-type: none"> ① 先進事例検証 <ul style="list-style-type: none"> 講演 小学校で患者たちが語る～いのちの授業～ 講師 がんサポートかごしま 三好綾先生 ② 香川県がん教育プログラム概要
24.1.21 第2回	<ul style="list-style-type: none"> ① がん教育取組みアンケート結果報告 ② 県内小学校の取組み報告 <ul style="list-style-type: none"> 講師 綾川町国民健康保険診療所 十枝めぐみ先生 ③ がん教育プログラム素案の検討 (教育目標、対象学年、教育上の配慮、授業の位置づけ等)
24.3.17 第3回	<ul style="list-style-type: none"> ① 先進事例検証 <ul style="list-style-type: none"> 講演 小学校におけるがん教育～3年間の軌跡と展望～ 講師 国立がん研究センター 片野田耕太先生 ② 各小・中・高等学校における教育目標と指導内容の検討
24.6.23 第4回	<ul style="list-style-type: none"> ① 香川大学教育学部附属高松中学校 公開授業の開催(24.6.22) <ul style="list-style-type: none"> 講師 東京大学医学部附属病院 中川恵一先生 ② 各小・中・高等学校における教育目標と指導内容の検討 <ul style="list-style-type: none"> 助言者 東京大学医学部附属病院 中川恵一先生
24.10.27 第5回	<ul style="list-style-type: none"> ① 各小・中・高等学校教材の検討 ② がん教育試行授業に向けての課題検討
25.3.2 第6回	<ul style="list-style-type: none"> ① 各小・中・高等学校教材の検討 ② がん教育試行授業報告と検証 ③ 今後の課題と推進の展開について検討

4 香川県がん教育プログラム検討会作業部会開催及び試行授業の実施

日にち	検討内容
24.8.6 第1回 作業部会	<ul style="list-style-type: none"> ① 香川県がん教育プログラム概要について <ul style="list-style-type: none"> •がん教育の目標について •対象学年、指導者を検討 ② がん教育教材作成案について <ul style="list-style-type: none"> •子宮頸がんの取扱いについて
24.9.22 第2回 作業部会	<ul style="list-style-type: none"> ① がん教育教材作成案について ② がん教育学習指導案について <ul style="list-style-type: none"> •学習指導要領との関連や各対象学年の指導のあり方について •研究授業に向けてワークシート及び評価のための事前事後アンケートを検討 •TT方式の検討
24.10.18	香川県中学校教育研究会さぬき・東かがわ支部教科外研究会にて「がんに関する内容」を題材とした研究授業に作業部会員が出席
24.10.24 第3回 作業部会	<ul style="list-style-type: none"> ① さぬき市立長尾中学校研究授業報告 <ul style="list-style-type: none"> •教育上の配慮について •理解を促す授業展開について ② がん教育教材作成案について ③ がん教育学習指導案について <ul style="list-style-type: none"> •小学3年生紙芝居の色彩や内容について •小学6年生スライド内容について •中学校がん患者の理解を促すためワークシートに体験談を掲載 •高校生はがん細胞の成り立ちなどを先に指導する
24.11.28 第4回 作業部会	<ul style="list-style-type: none"> ① がん教育教材・学習指導案について ② 試行授業実施について <ul style="list-style-type: none"> •各学年の単元について •派遣保健師の資質向上について
24.12.8 第5回 作業部会	<p style="text-align: center;">チームA:小学校のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 小学6年生試行授業について <ul style="list-style-type: none"> •スライド修正や事前事後アンケートとワークシートの検討
24.12.18 小学6年生 試行授業	高松市立亀阜小学校試行授業及び意見交換会
24.12.26 第6回 作業部会	<p style="text-align: center;">チームB:中・高等学校のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 中学校試行授業について <ul style="list-style-type: none"> •スライド修正や事前事後アンケートとワークシートの検討
25.1.11 第7回 作業部会	<ul style="list-style-type: none"> ① がん教育教材・学習指導案について ② 試行授業実施について <ul style="list-style-type: none"> •中学校DVDの活用について •グループワークについて
25.1.30 中学校 試行授業	高松市立桜町中学校試行授業及び意見交換会
25.2.13 小学3年生 試行授業	高松市立木太小学校試行授業及び意見交換会
25.2.18 第8回 作業部会	<p style="text-align: center;">チームB:中・高等学校のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 中学校教材及び学習指導案の修正について
25.3.6 高等学校 試行授業	香川県立高松西高等学校試行授業及び意見交換会
25.3.19 第9回 作業部会	<ul style="list-style-type: none"> ① がん教育教材及び学習指導案の修正について ② がん教育の手引書案について

2 香川県がん教育推進委員会の設置

香川県がん教育プログラム検討会は、24年度末に香川県版がん教育プログラムの完成をもって閉会しました。25年度からは新たに、香川県がん教育推進委員会を設置し、がん教育の本格実施に向けて円滑な導入を図ることを目的に、香川県版がん教育プログラムを活用した指導のあり方等の検討を行います。下部組織として小委員会を設置、各教材活用に関する助言やモデル授業の実践及び評価等を行っています。

1 香川県がん教育推進委員会

平成26年3月現在

	氏名	所属
1	池田 信子	香川県在宅保健師会
2	大西 えい子	香川大学教育学部
3	大山 富美江	香川県教育委員会保健体育課
4	石井 孝規	三豊市立和光中学校(香川県中学校教育研究会学校保健部会長)
5	河原 俊巳	高松市立弦打小学校(香川県小学校教育研究会学校保健部会長)
6	小坂 真智子	香川県立香川中央高等学校(香川県高等学校教育研修会保健体育部会保健養護部会長)
7	徳重 貴子	高松市保健所保健センター
8	中矢 晃子	香川大学医学部附属病院 がん診療相談支援室
9	西田 智子	香川大学教育学部
10	三野 八重子	香川県PTA連絡協議会
11	吉澤 潔	高松赤十字病院 会長

オブザーバー

1	岡野 由佳	香川県国保連合会
2	藤田 純子	香川県総合健診協会
3	筒井 知子	小豆総合事務所
4	植村 明	東讃保健福祉事務所
5	橋本 真澄	中讃保健福祉事務所
6	細谷 キヨミ	西讃保健福祉事務所

2 小委員会

平成26年3月現在

	氏名	所属
1	塩田 悦子	高松市立亀阜小学校
2	吉原 由利子	高松市立木太小学校
3	宮脇 貴子	高松市立屋島小学校
4	豊島 竹志	高松市立川東小学校
5	田所 大和	高松市立亀阜小学校
6	中井 真弓	さぬき市立長尾中学校
7	塩田 崇世	高松市立桜町中学校
8	柳谷 貴子	香川県立高松西高等学校

香川県がん教育の手引き

— 平成26年3月発行(平成28年3月一部改定) —

香川県がん教育推進委員会事務局

香川県健康福祉部健康福祉総務課

TEL 087-832-3261

無断複写・転載を禁じます。



香川県がん征圧イメージキャラクター
ソウキくん